



こちらは

「FX ってそもそも何！？」

という方から、

「もっと利益を上げられるようになりたい！」

「サイクル理論を使ったトレードがしたい！」

といった方まで初心者から中級者以上の方へも向けて、

アッシュの LINE のお友だち限定レポートになっております。

ぜひ何度も読んで復習してみてくださいね💡

# 目次

## ○基本編

▪ <a href="#">FXとは？</a> . . . . .	5
▪ <a href="#">通貨ペアとは？</a> . . . . .	7
▪ <a href="#">ローソク足とは</a> . . . . .	9
▪ <a href="#">FXは少額から始められる！</a> . . . . .	11
▪ <a href="#">スワップとは</a> . . . . .	12
▪ <a href="#">ファンダメンタル？テクニカル？</a> . . . . .	14
▪ <a href="#">Pipsとは？</a> . . . . .	16
▪ <a href="#">スプレッドとは？</a> . . . . .	17
▪ <a href="#">ロットと損益計算について</a> . . . . .	19

## ○サイクル理論編

▪ <a href="#">サイクル理論とは？</a> . . . . .	22
▪ <a href="#">サイクルの優位性について</a> . . . . .	23
▪ <a href="#">サイクルの周期は？</a> . . . . .	24
▪ <a href="#">サイクルの中のサイクル？</a> . . . . .	27
▪ <a href="#">サイクルの形状とは？</a> . . . . .	31
▪ <a href="#">サイクルの絶対ルール</a> . . . . .	33
▪ <a href="#">サイクルのあり得ない形</a> . . . . .	36
▪ <a href="#">サイクルのパターン！</a> . . . . .	40

## ○アッシュ流トレード編

▪ <a href="#">サイクルにおける損切り！</a> .....	45
▪ <a href="#">損切りの置き方！</a> .....	48
▪ <a href="#">サイクルを使ってナンピンする方法！</a> .....	56
▪ <a href="#">買いと売りどちらが好きですか？</a> .....	62
▪ <a href="#">定義を使ったトレード！</a> .....	68
▪ <a href="#">多くの人が間違えているトレンドの定義！</a> .....	71
▪ <a href="#">大衆の逆をやれ！</a> .....	81

## ○さいごに

▪ <a href="#">さいごに！</a> .....	85
-------------------------------	----

# 基本編

# FX とは？

FX は(Foreign Exchang)の略で外国為替証拠金取引のことで、

為替差益を狙う投資です。

必要証拠金という資金をを担保にし、差金決済という仕組みを使い、様々な通貨を  
売買して利益を得るのです。

例えば**1ドル**が**100円**の時に  
**100円**を**1ドル**に両替するとします。

その後**円安**になり、**1ドル**が**110円**になった時に  
**1ドル**を**円**に両替します。

すると110円になるので10円お得ですね。

この10円が利益になるということです。  
簡単に言うと FX は通貨の両替なんですね！

**安い時に買って高い時に売る**

これが基本的でわかりやすいのですが、FX では

**高い時に買って安い時に買う**ことでも利益をあげることができます！

なぜ何も買っていないのに”売る”ことができるのか？

例)1ドルが100円のときに

あなたは1ドル持っているとします

私があなたに1ドル借ります

私は1ドルを100円に両替します

その後、1ドルが90円になりました

私はもう1度、ドルに両替し直して、

1ドルをあなたにお返しするのですが、私の手元には10円が余ります

この10円が利益になります！

持っていない通貨をFX 会社に借りて売り、  
安くなったら買い戻して、借りた通貨分を返す というイメージです！

実際のトレードでは**買いから入ることをロング、  
売りから入ることをショート**と言ったりします。

# 通貨ペアとは？

「USD／JPY」、「EUR／USD」のように表記されるものを通貨ペアと言います。

「USD／JPY」の場合、  
「1米ドルを日本円に換金したらいくらになるか」ということです。

「左側の通貨を右側の通貨に表すといくらになるか」を表しています。

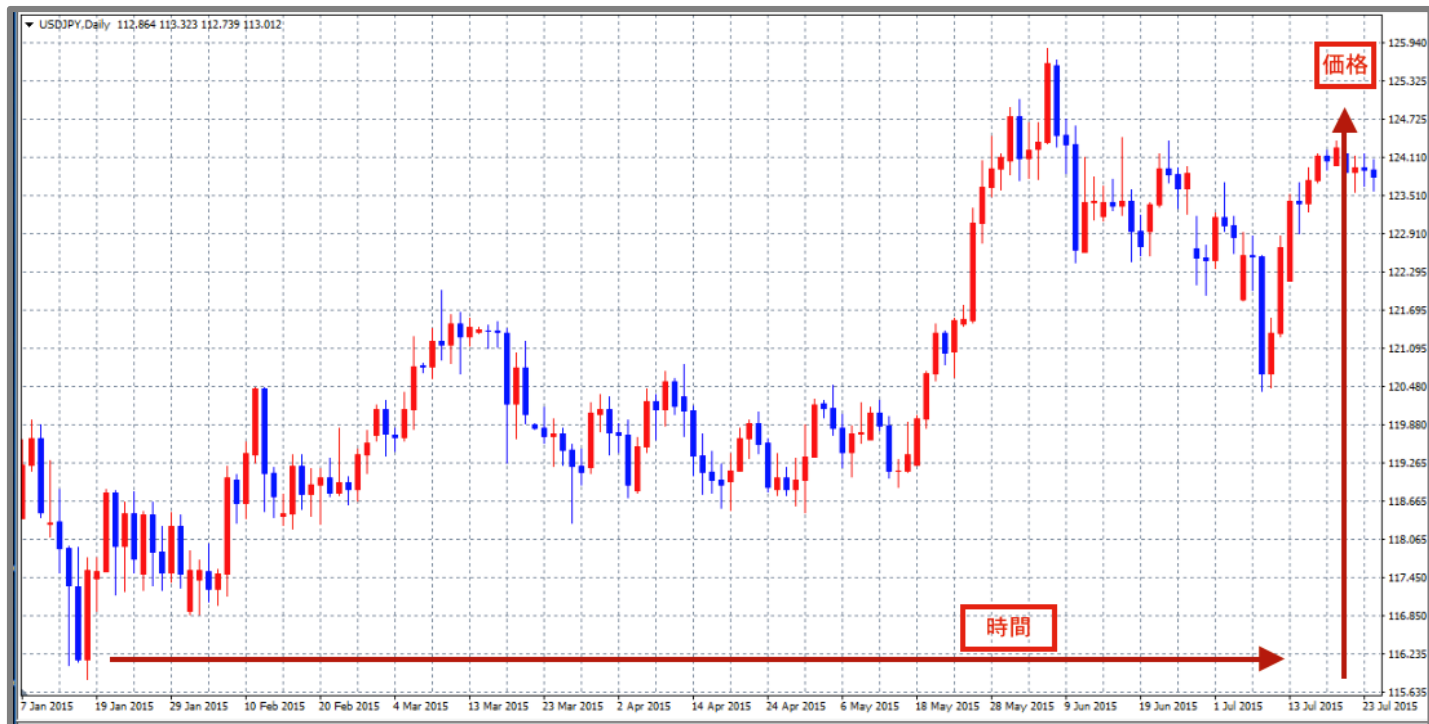
USD／JPY＝100.550の場合、1米ドルが日本円で100.550円ということですが、

この右側の通貨価値のことを為替レートとも言います。

レートは需要と供給によって価格が決まり、各国の経済状況、貿易会社や銀行、ヘッジファンド、トレーダーによって動かされています。

チャートの向こう側にはそういった人たちがいることを肝に銘じておきましょう！  
為替相場はゼロサムゲームです。勝っている人がいれば必ず負けている人もいます。

為替レートの値動きを表したのがこのチャートです。



縦は価格、横は時間で表されています。

これは**日足チャート**といい、1日の値動きをローソク足1本で表しています。

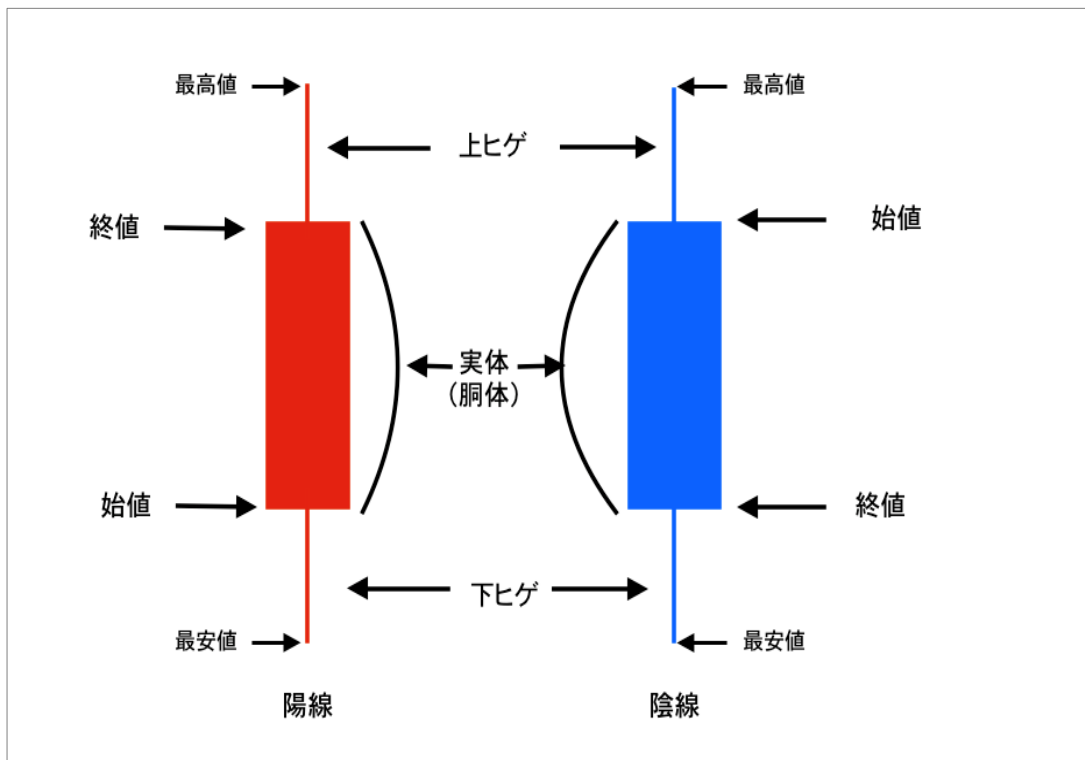
- ・15分足チャート(ローソク足1本が15分間の値動き)
  - ・週足チャート(ローソク足1本が1週間の値動き)
- などがあります。

大きい時間軸に変えて大きな流れを見たり、小さい時間軸に変えて細かい値動きを見たりして、様々な時間軸に変更することができます。



# ローソク足とは？

**ローソク足**とは先ほどの画像の赤や青の棒の1本1本のことを言います。



始値より終値が高く終わると**陽線**  
始値より終値が低く終わると**陰線**になります。

**始値**・・・そのローソク足が始まった値段

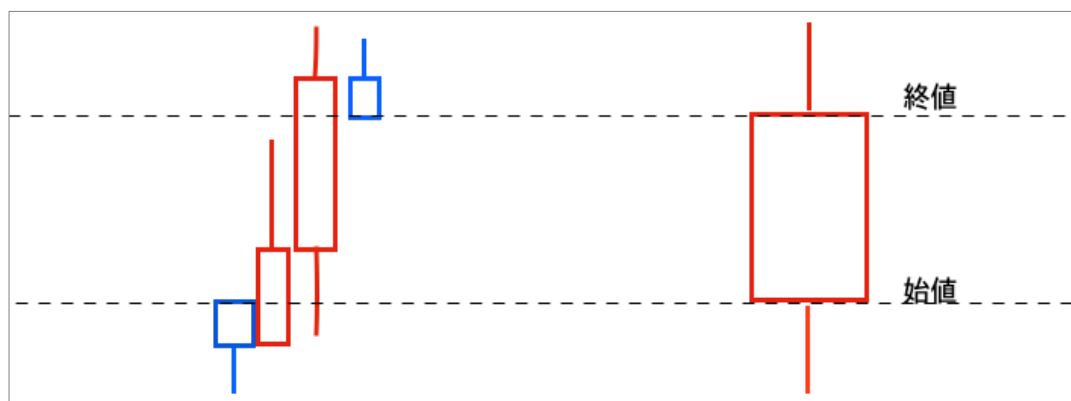
**終値**・・・そのローソク足の終わりの値段

**最高値**・・・そのローソク足の1番高い値段

**最低値**・・・そのローソク足の1番低い値段

このようにローソク足からは4つの情報を読み取ることができます！

ローソク足チャートには相場の強弱や投資家の心理が表されており、ヒゲの長さや、幾つかのローソク足を組み合わせて考えたりもします！



右が4時間足のローソク足(1本で4時間の値動きを表している)  
左が1時間足のローソク足4本とします。

また、赤が陽線、青が陰線の場合、

4時間ローソク足は1時間ローソク足4本で形成されているということです！

1時間足なら15分足が4本、15分足なら5分足が3本、5分足なら1分足が5本、、、というように、より小さいローソク足が集まって、より大きいローソク足を作るんですね。

# FX はいくらから始める？

FX は FX 会社の口座に担保として証拠金を預けますが、  
実は少額から始められます。

FX にはレバレッジというものがあります。

レバレッジとは『テコの原理』という意味です。

日本の取引会社ではレバレッジが最大25倍と決まっています。

例えば1ドルが100円(USD/JPY=100円)の場合、1万ドルの取引をしようと思えば、100円×10000ドル=100万円必要です。

しかし、25倍のレバレッジをかけると...  
 $100\text{万円} \div 25\text{倍} = 4\text{万円}$ で済みます。

10倍のレバレッジをかけると...  
 $100\text{万円} \div 10\text{倍} = 10\text{万円}$ で済みます。

レバレッジをかけることによって、本来必要な資金が25分の1や  
10分の1で済むんですね！！

つまり、資金が10万円なら最大で10万円×25倍の250万円分の取引ができるということです！

しかし、損失も同じようにレバレッジがかかってくるので注意が必要です。

# スワップとは？

FX にはもうひとつ利益が出るポイントとして、スワップポイント  
というのがあります。

日本円の金利は2017年11月現在0.1%ですが、オーストラリアドルは1.5%、トルコリラはな  
んと8%です！

このように各国によって金利が違います。

FX では異なる国の通貨と通貨の取引ですので、この2国間の金利差から利益が得られま  
す。

ということかという、**低金利通貨を売って、高金利通貨を買うとスワップポイントが得ら  
れます！**

例えば

”トルコリラ／円のロング”は”円を売ってトルコリラを買う”  
(TRY／JPY)  
という取引なので

$$8\% - 0.1\% = 7.9\%$$

持っている額×7.9%の金利を得ることができ、

それを1年(360日)で割れば1日当たりのスワップポイントがわかります。

トルコリラを100万円分保有していると、1年間で約8万円得ることができるということデ  
す！

1日当たりは約220円ですが、毎日受け取れるので魅力的ですね！

スワップを狙うトレーダーもありますが、私は為替差益を狙っているのでほとんど気にしていません！

しかし、その逆に**低金利通貨を買って、高金利通貨を売るとスワップポイントを支払わなければならない**ことは覚えておきましょう。

# ファンダメンタル？ テクニカル？

チャートを分析するにあたって、主に2つのやり方があります。

## ・フォンダメンタルズ分析

各国の経済状況や、戦争、GDP、大統領選挙、雇用統計などを参考に取引をすることです。

経済指標発表時には突発的な動きをすることが多いです。

## ・テクニカル分析

多くの方がこの分析をされていると思います。

テクニカル分析とは**インジケータ**（テクニカル指標）を使ったり、過去の相場のパターンから判断し、チャートを分析することです。

インジケータは大きく分けて「**トレンド系**」、「**オシレーター系**」の2つに分けることができます。

### 「トレンド系」

相場の方向性を判断します。

移動平均線、ボリンジャーバンド、MAD など

### 「オシレーター系」

相場の売られ過ぎや、買われ過ぎを判断します。

RSI、ストキャスティクスなど

**初心者の方はチャートに様々なインジケーターを表示させてしまいがちですが、多いから勝てるということはありません！**

**使うなら、自分に合うもの、多くの人が使っているものを使った方がいいです！なぜかと言うと、多くの人が表示させているなら、より反応しやすいからです！**

**チャートはできるだけシンプルにすることをおすすめします！**

# Pips とは？

☆pips とはいろんな通貨があるのでわかりやすく共通で表した単位のことです！はじめのうちはわかりにくいかもしれませんが、慣れれば簡単です！

## ・〇〇〇〇／円の場合

1 銭 = 1 pips

100 銭 = 100 pips = 1 円となります。

例えば、USD／JPY が

100.000から100.050に上昇した場合、5pips 上昇したなどと言います。

(例) 100.300→100.500 = 20pips 上昇

100.065→100.060 = 0.5pips 下落

## ・〇〇〇〇／ドル などの〇〇〇〇／円以外の場合

0.01 セント = 1 pips

100 セント = 100 pip = 1 セントとなります。

(例) 0.55000→0.55010 = 1 pips 上昇

0.65000→0.65502 = 50.2 pips 上昇



# スプレッドとは？

☆スプレッドとは FX 会社の手数料です！

あなたがもし、100.500から買いたい！売りたい！と思っても、  
100.500からは取引できないんですね。

これはスプレッドがあるからです！

スプレッドは各 FX 会社によって違います。

例えば、スプレッドが、ドル／円で0.6銭の場合

為替レートが100.500のとき

売値100.494      買値100.506      となります！

また、**売値を BID、買値を ASK** とも言います。

SELL	▼	0.10	▲	BUY
112	58 <sup>8</sup>		112	60 <sup>7</sup>



実際の取引画面はこのようになっていて、**BID と ASK が表示されており、クリックするだけで注文できます。**

# ロットと損益計算について！

☆ロット(Lot)とは取引単位のことです！

1ロット、5ロット、10ロットなどと言い、“枚”とも言われます。

1ロット＝1枚です。

多くの国内 FX 会社では1ロットが1万通貨のことを指しており、1000通貨だと0.1ロットです。

☆計算方法

(例)1ロット(1万通貨)で買いで取引して  
100.000から101.000になった場合

100pips の値動きを取れました。

$10000 \text{ 通貨} \times 1 \text{ 円} (100 \text{ 銭}, 100 \text{ pips}) = 10000$

10000円の利益

(例)10ロット(10万通貨)で売り取引して  
101.000から100.070になった場合

30pips の値動き

$100000 \text{ 通貨} \times 0.3 \text{ 円} (30 \text{ pips}) = 30000$

30000円の利益

○簡単に計算するなら、

**1万通貨なら1pip=100円の値動き**

**5万通貨なら1pip=500円の値動き**

**などと覚えておいて、**

**50pip の値幅なら100円×50pip=5000円**

**120pip の値幅なら500円×120pip=60000万円**

**と計算します！**

# サイクル理論編

# サイクル理論とは？

サイクル(cycle)とは日本語で”周期”、”循環”を意味しますが、私たちの周りにもサイクルはたくさんあります。

例えば、月の公転,四季,1日は24時間であり、1年は12ヶ月であること、人間の心拍数は60～75回であること,などなど当たり前のように存在しますよね。

だから相場において投資家たちの売買、価格変動にサイクルが存在してもなんら不思議ではないと思いませんか？

相場には様々な理論がありますがサイクル論はあまり使われていないのではないのでしょうか。

サイクル論の第1人者はレイモンド・A メリマン氏で、”メリマンサイクル論”を発表しました。

サイクル論とは、一定の確率と時間軸による安値の出現の可能性と、大小様々な相関性を持ち、有利な時間とトレードポイントを知る理論です！

私はサイクル論を用いてから FX で勝てるようになりました。

# サイクルの優位性について

値動きには上昇か下落しかありませんよね。

サイクルは常に一定の間隔で繰り返し起こる安値から安値までの価格変動です。

また、サイクルには“**オーブ**”という誤差も発生します。

オーブはそのサイクルの**6分の1**です。

例えば36日のサイクルがあれば、オーブは6分の1なので  
オーブは6日になり、30日～42日がこのサイクルの長さになります。

36日と聞くと、常に36日で安値から安値を形成すると思われがちですが、そうではありません。

サイクルは80%の確率で起こると言われているので、  
30日～42日の確率が80%だとすれば、残り20%はこのサイクルから外れることもあります。

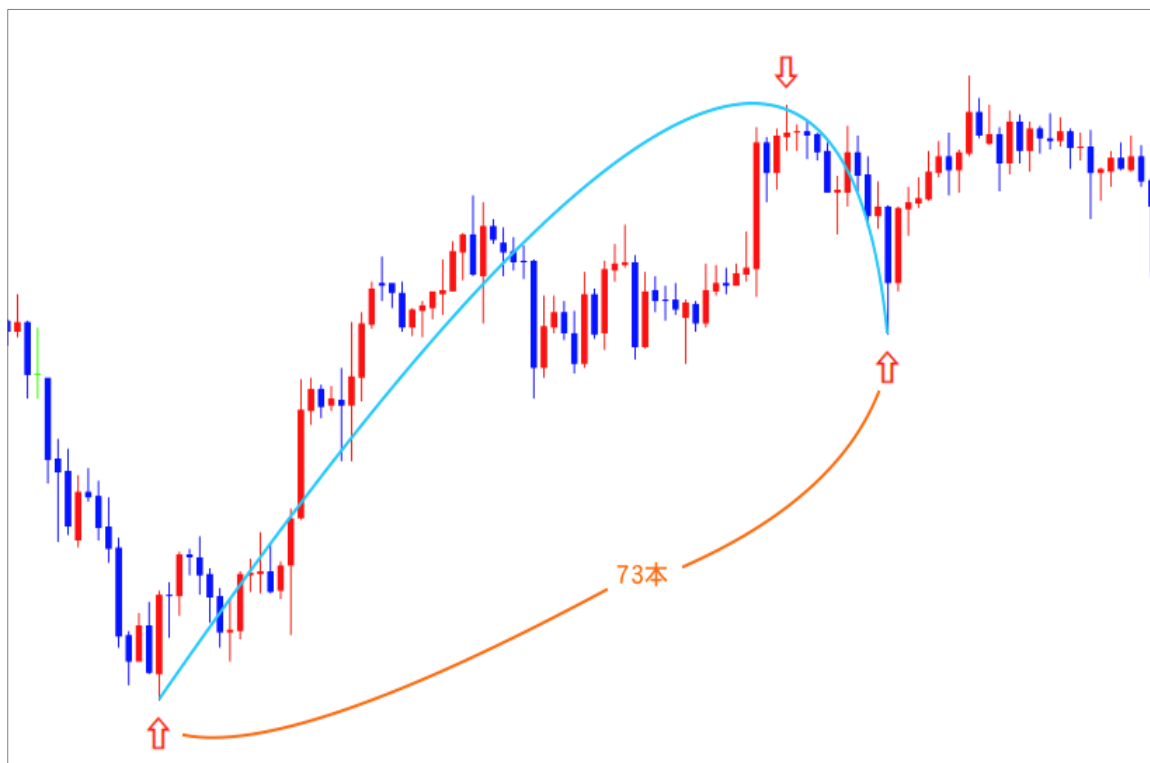
しかし、**80%**もあれば利益を上げる確率を高められるのにとっても優位だと思いませんか？

# サイクルの周期は？

サイクルは

- 4H サイクル
- メジャーサイクル(日足のサイクル,MC)
- プライマリーサイクル(週足のサイクル,PC)
- 月足サイクル(月足のサイクル)
- 長期サイクル

などがあります。



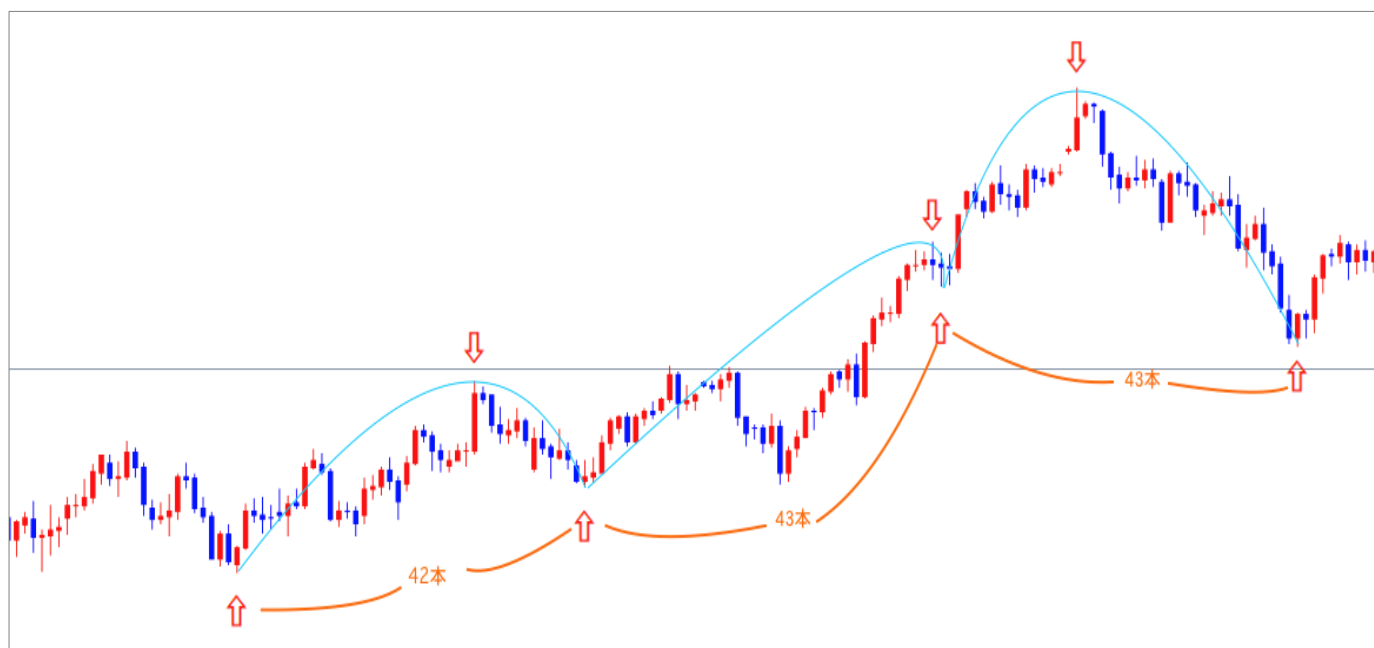


画像は4H チャートで4H サイクルを表しています。

サイクルは矢印で表したように安値(ボトム)をつけ、高値(トップ)をつけ、安値(ボトム)をつけます。

サイクルは安値をローソク足1本目として数えていき、この画像のサイクルは73本で終了しています。

4H サイクルは60本～80本がセオリーです。



画像は日足チャートです。

メジャーサイクルは35～45本です。



画像は週足チャートです。

プライマリーサイクルは24～35本 です。

綺麗にセオリー通り動いていますね。

もちろん全てがセオリー通り動くわけではありませんが、サイクルは80%の確率で起こります。

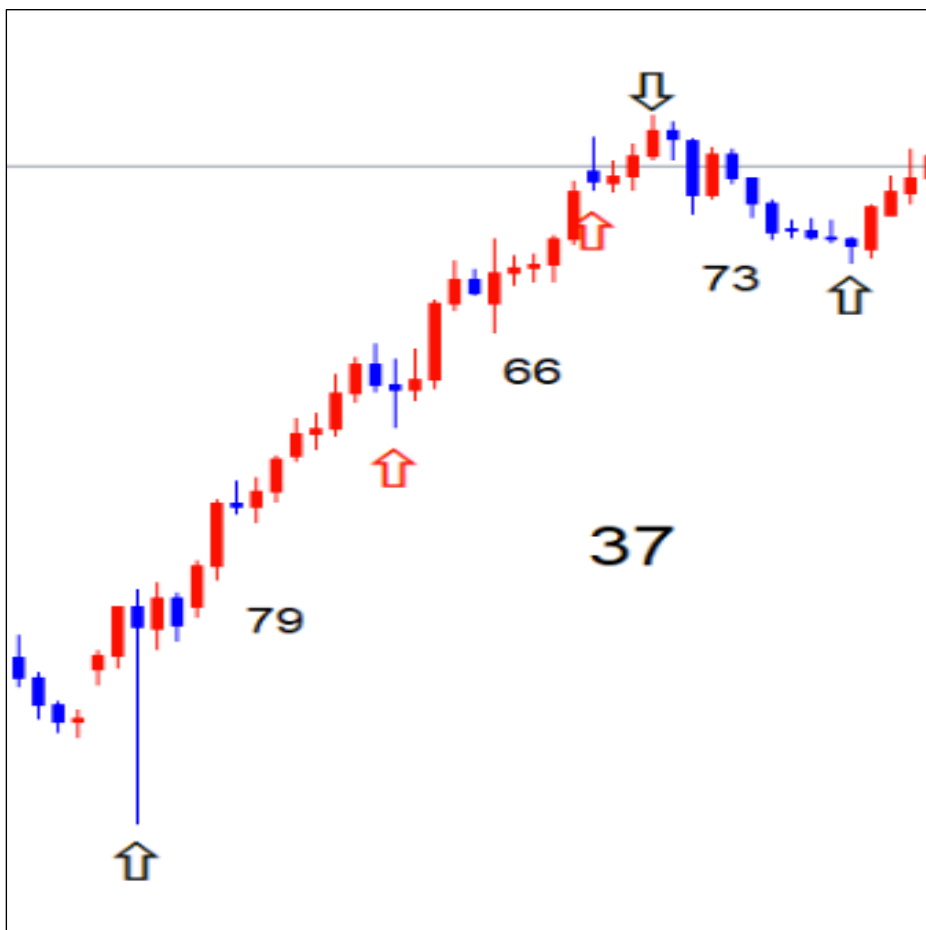
どれだけ優位性があるのかがお判り頂けるかと思います。

基本のサイクルより短くなることを**サイクルの短縮**、長くなることを**延長**と言ったりします。

# サイクルの中のサイクル？

すべてのサイクルは、より小さい3～4個のサイクルに分類できます。

逆に言えば、3～4個のサイクルが集まればより大きいサイクルを形成するということです。



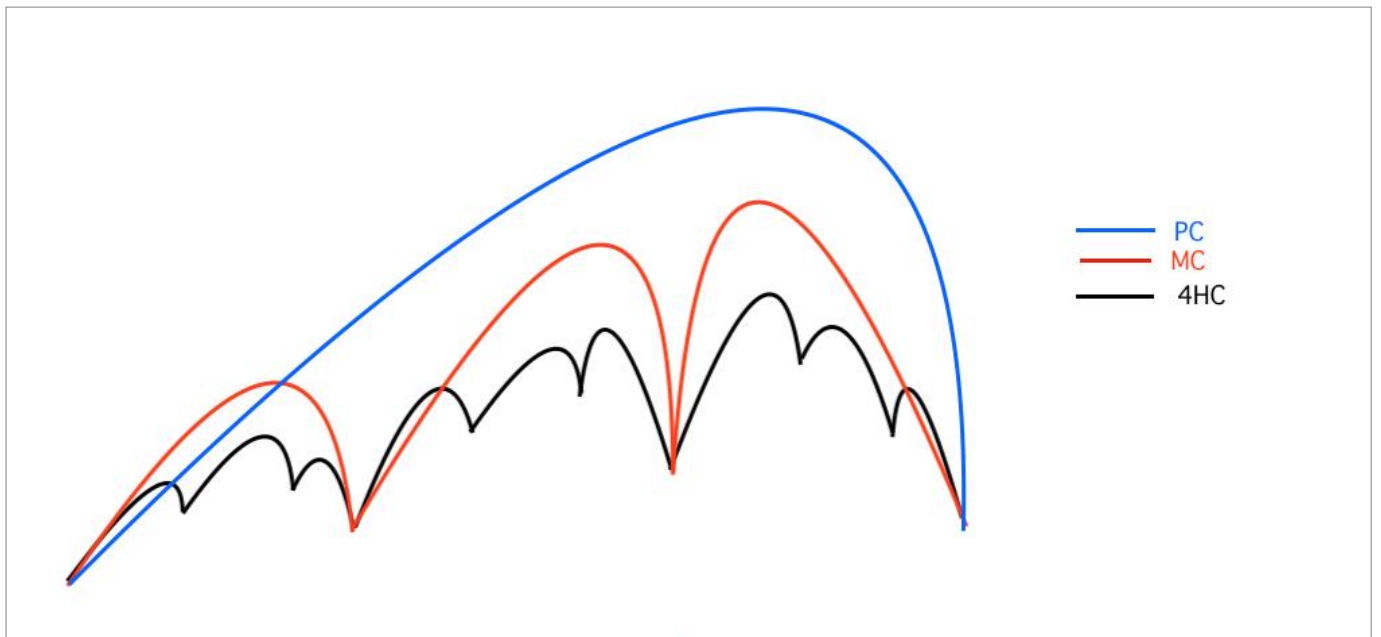
上の画像は日足チャートでメジャーサイクルは37本です。

このサイクルの中には3つの4H サイクル(79本のサイクル、66本のサイクル、73本のサイクル)が入っています。



上の画像は4H チャートで1つ目の4H サイクル(第一4H サイクルとも言う)は79本、第二4H サイクルは66本、第三4H サイクルは73本です。

第三4H サイクルの高値(サイクルトップ)が、37本のメジャーサイクルのトップになっているのがわかります。



このように大きなサイクルの中に小さなサイクルがその中にも小さなサイクルが存在します。

大きなサイクルを**支配サイクル**と言い、小さな波を支配しています。

大きいサイクルがトップやボトムの時間帯は小さいサイクルは延長・短縮しやすい傾向があるので注意しておきましょう。

また、**それぞれのサイクルの起点と終了は必ず同じ**です！

**例えば、**

**支配サイクルのトップは、必ず、より小さいサイクルのトップと同じです！**

**メジャーサイクルの起点と4時間サイクルの起点は必ず同じです！**

**大、小のサイクルを確認し、トレードを有利に運んでいきましょう！**

# サイクルの形状とは？



このように真ん中より右側に天井がくる形状のことを**ライトトランスレーション**と言います。  
**サイクル終了の安値は起点の安値より上になります！**

アップトレンドのサイクルではスタートから上昇時間が長くなり、トップが後半に出現するというセオリーとなります。



このように真ん中より左側に天井がくる形状のことを**レフトランスレーション**と言います。

**サイクル終了の安値はサイクル起点の安値より下になります！**

ダウントレンドのサイクルでは、スタートからトップまでの時間は短くなり、  
トップは前半に出現するというセオリーです。



# サイクルの絶対ルール！

サイクルには絶対的な定義があるので、  
相場のサイクルを見つける際は必ずこのルールを守ってください。

サイクルというのは、必ず、その1つのサイクルの中で、

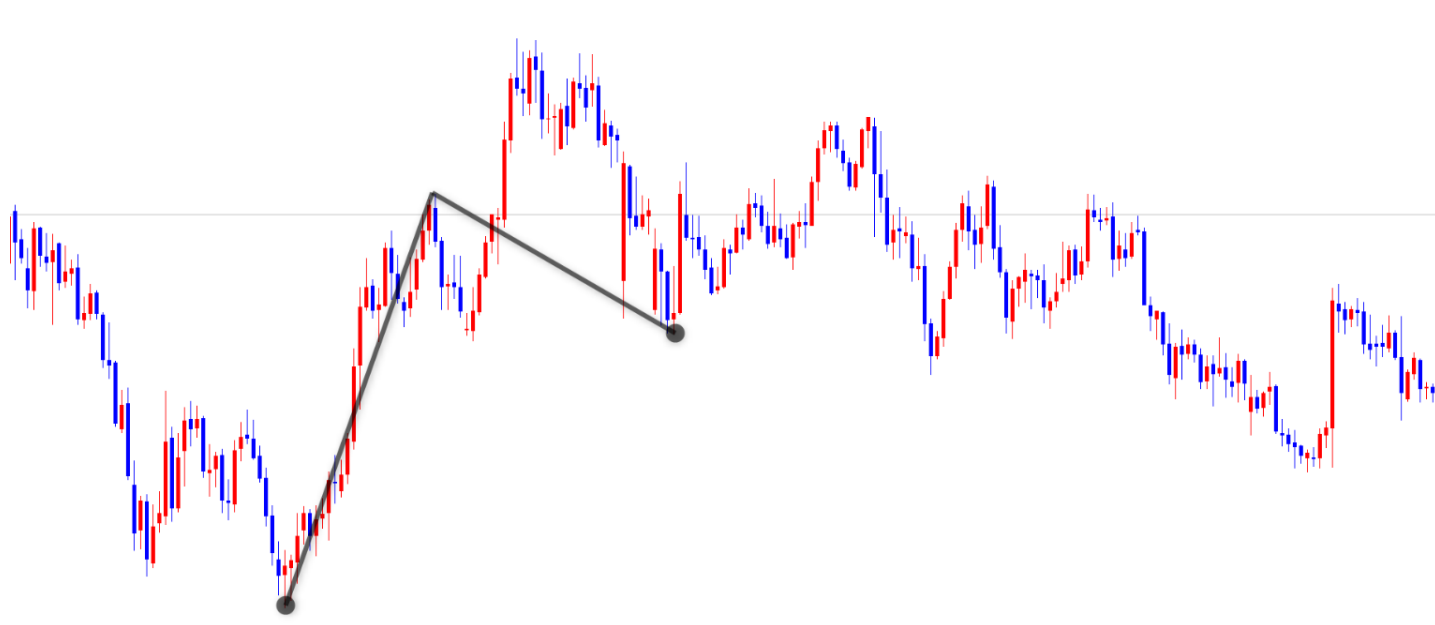
**「1番安い安値の起点から1番高い高値が天井、天井から1番安い安値が底」**

となります。



例えば、上記のようなサイクルが形成されているとしましょう。

このようなサイクルがあった場合、



1つ目のサイクルをこのように捉えることはありません。

これはサイクルではあり得ない形になります。

理由は、「起点から1番高い高値が天井になっていないから」です。



また、2つ目のサイクルをこのように捉えることもありません。

これもサイクルではあり得ない形になります。

理由は、「天井から1番安い安値が底になっていないから」です。

このように必ず「**起点から1番高い高値が天井、天井から1番安い安値が底**」というルールは守ってください。

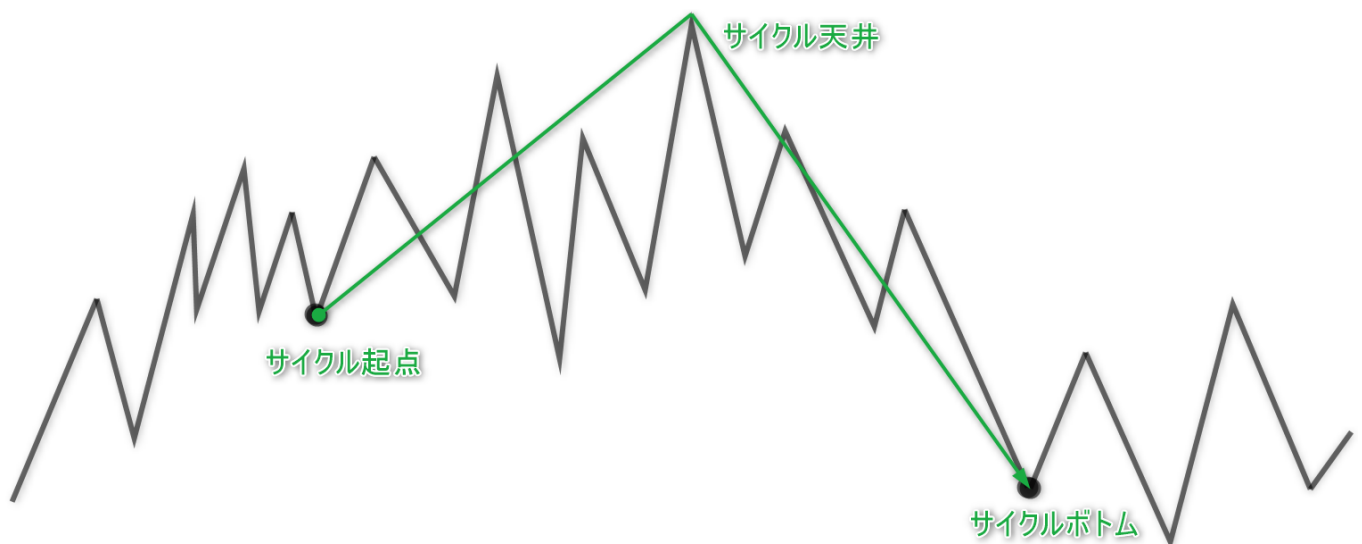
# サイクルのあり得ない形

先ほど、サイクルの絶対ルールについて解説しましたが、  
絶対にあり得ない形というものも存在しています。

ということかという、

サイクルというのは、必ず、その1つのサイクルの中で、

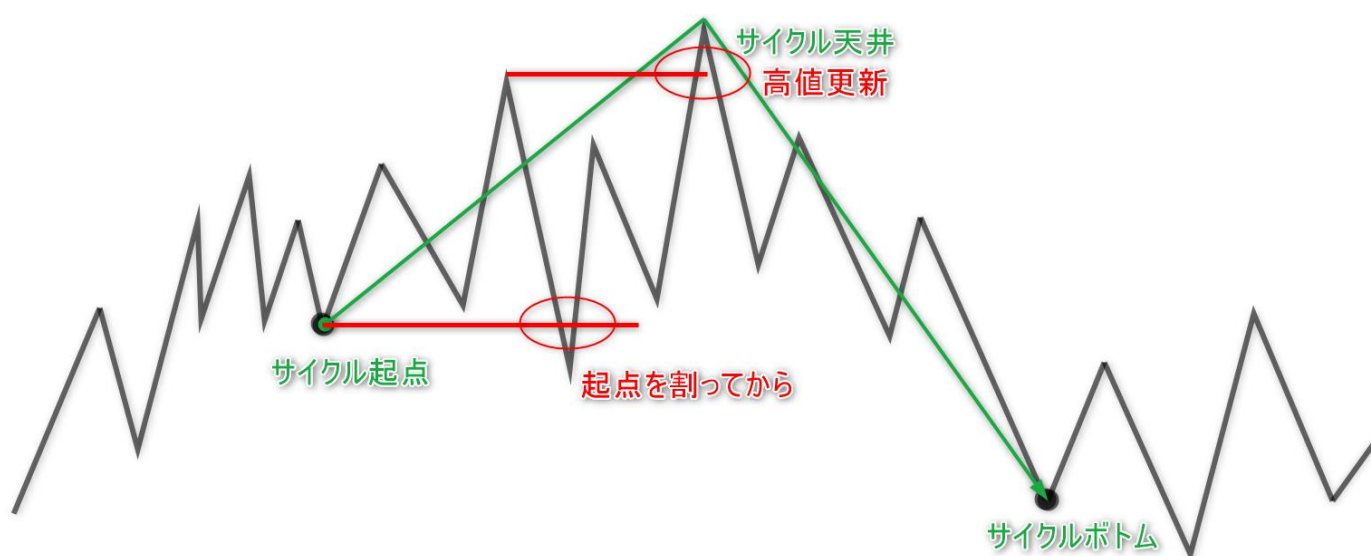
**「起点を割ってから、高値を超えることはない」**です。



例えばですが、上記のようなサイクルというのは存在しません。

理由は、

「起点を割ってから高値更新しているから」です。



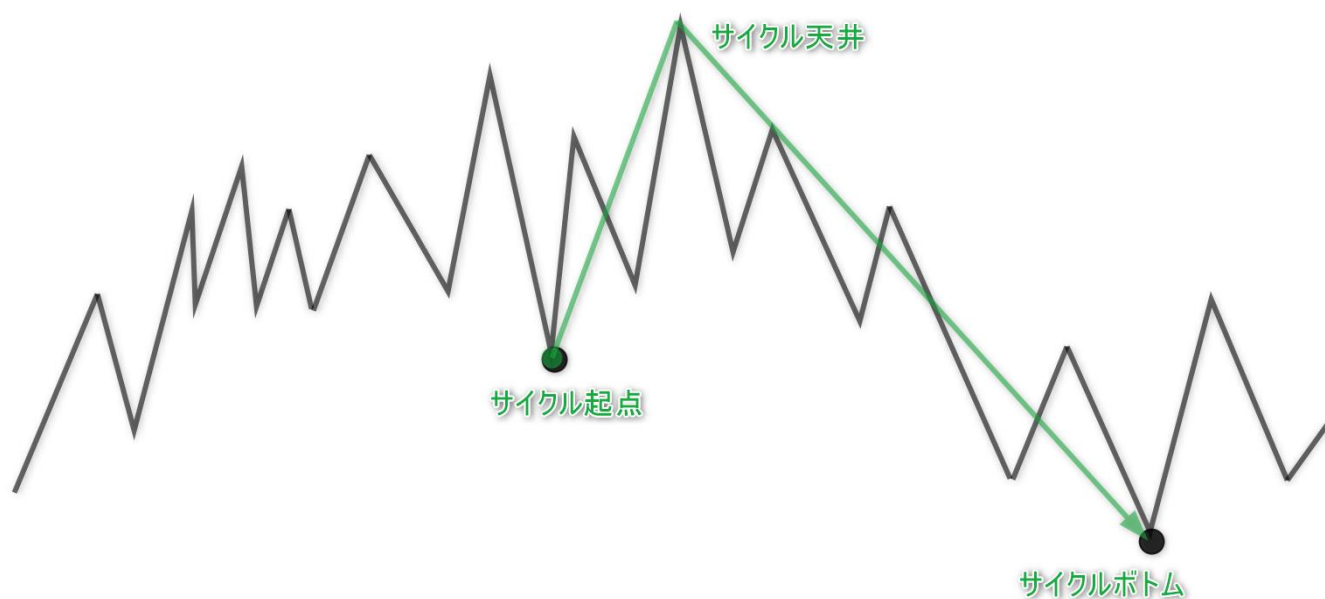
つまり、天井を付ける前の1番安い安値が起点になっていません。

上記のようなサイクルはあり得ないので、

起点を割ってから高値更新してしまった場合は、

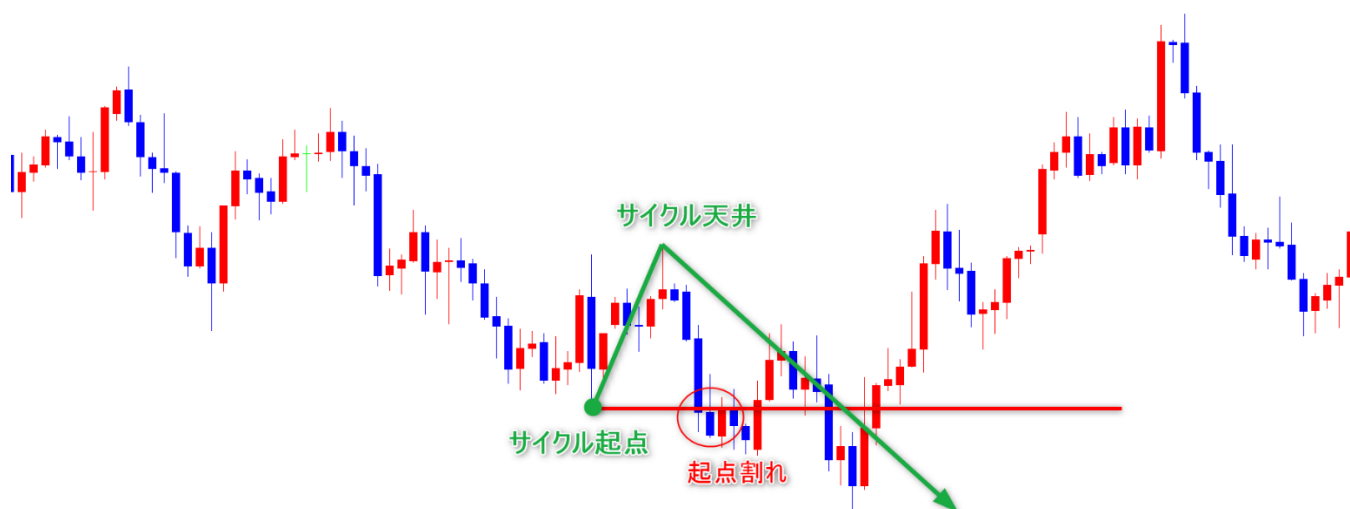
サイクルの起点を見直す必要があります。

このことを踏まえると、



こういったサイクルとして捉えるのが正しいですね！

「1番安い安値が起点」になっていますし、  
 「起点から1番高い高値が天井、天井から1番安い安値が底」になっています。



そもそもサイクルというのは、

起点を割れた時点で「レフトトランスレーション」が確定し、

サイクル天井も確定します。

なので、サイクル完成前に、

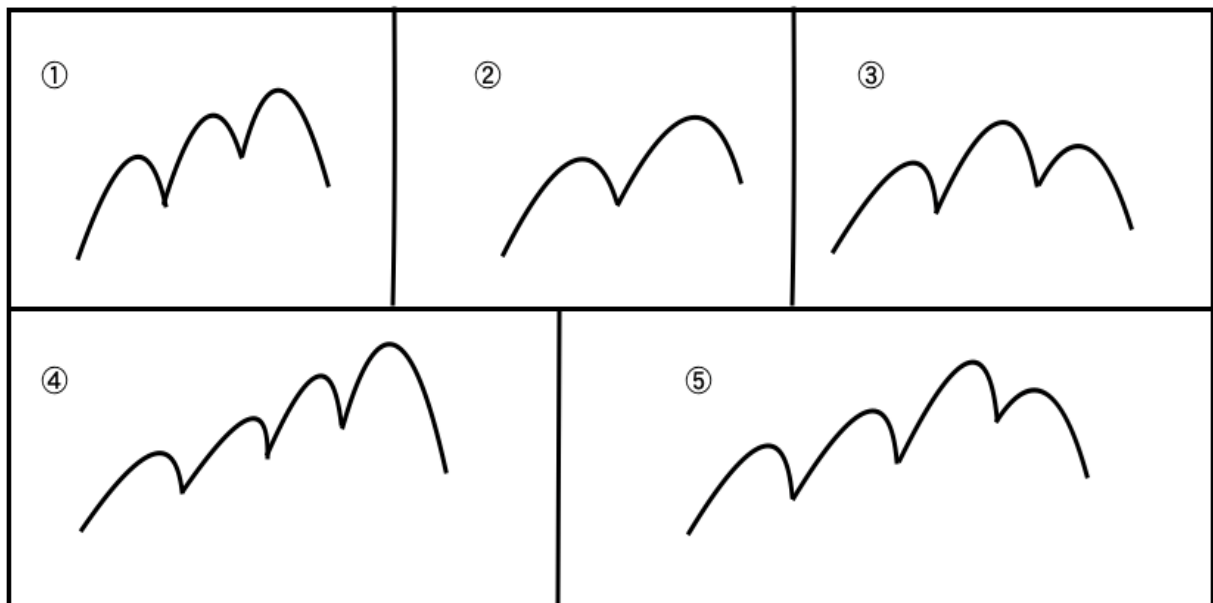
**「起点を割ってから、高値(天井)を超えることはない。」**

という考え方になります。

# サイクルのパターン！

すべてのサイクルはより小さい3～4個のサイクルに分類できるのですが、  
実はそれには典型的なパターンがいくつかあります。

## ☆ アップトレンドのパターン





① 3個の小さいサイクルで1つの大きいサイクルを形成。  
アップトレンド→アップトレンド→ダウントrend。  
サイクル全体の天井は3個目。最も典型的。

② 2個の小さいサイクル。  
全体の天井は2個目。

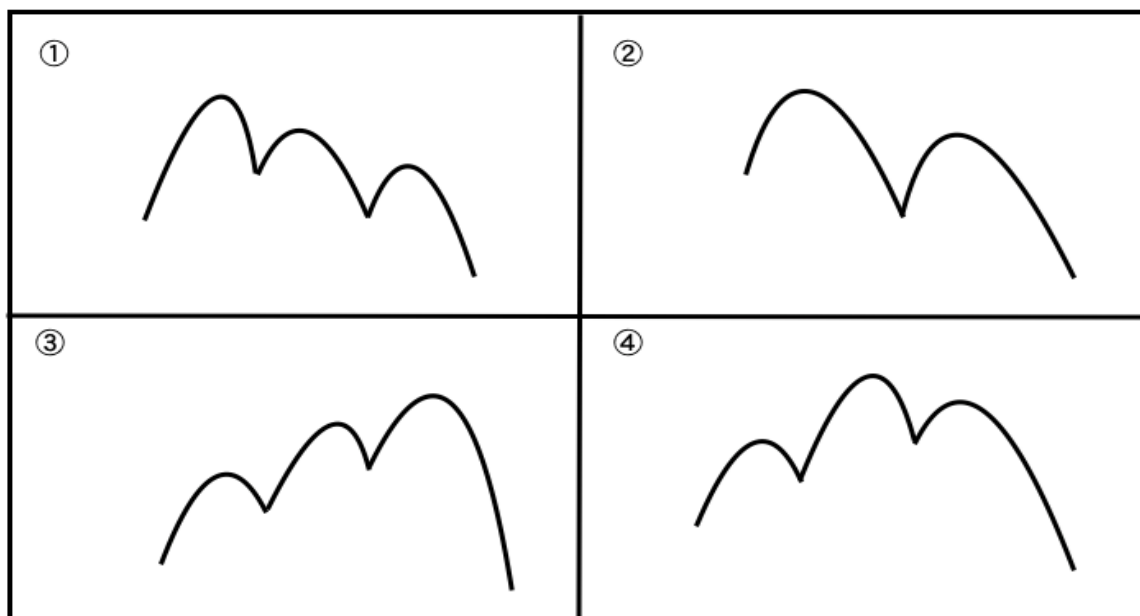
③ 3個の小さいサイクル。  
①と違うのは、サイクル全体の天井は2個目。

④ 4個の小さいサイクル。  
全体の天井は4個目。

⑤ 4個の小さいサイクル。  
全体の天井は3個目。  
エリオット波動論と同じ。

以上5パターンがアップトレンドの基本パターンです。

☆ダウントレンドのパターン



① 3個の小さいサイクルで1つの大きいサイクルを形成。  
アップトレンド→ダウントrend→ダウントrend  
サイクル全体の天井は1個目。最も典型的。

② 2個の小さいサイクル。  
ダウントrend→ダウントrend  
天井は1個目。

③ 3個の小さいサイクル。  
アップトレンド→アップトレンド→ダウントrend  
全体の天井は3個目。  
急落してサイクルスタートの安値を切り下げる。

**④3個の小さいサイクル。**

**アップトレンド→アップトレンド→ダウントrend**

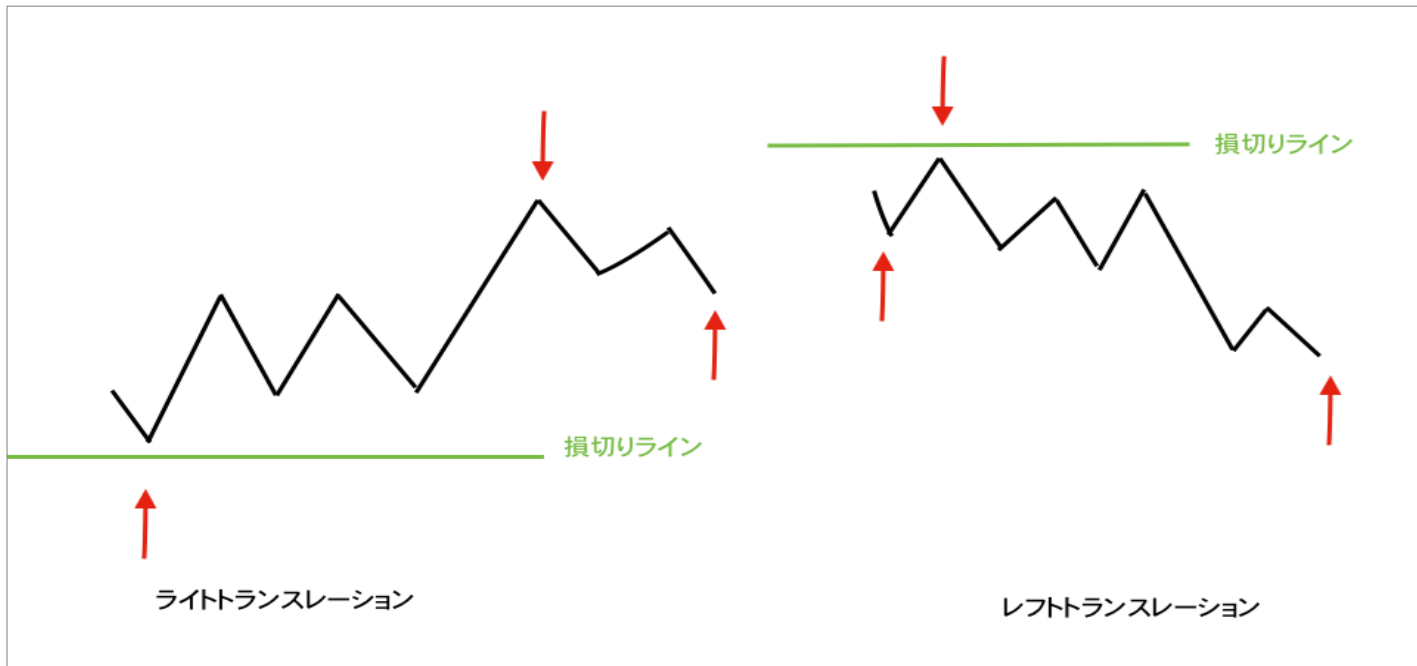
**全体の天井は2個目。**

**以上4つがダウントrendの基本パターンです。**

**基本パターンを理解することで、次の準備ができます。**

# アッシュ流 トレード編

# サイクルにおける損切り！



ロングならボトムより下！ショートならトップより上に損切りをおくのが有効です。

損切りにかからないので勝率は上がりますよね。

損切り幅が大きくなってしまいうこともありますが、資金管理でカバーします！！

**1回あたりのトレードの損失額は資金の3%以内に押さえる**ということです！

(例)

資金が100万円

ドル円110.00から10000通貨ロング

損切りは109.50

10000通貨(100円)×-50pips=5000円

100万円の2%は2万円なので、この場合はルールはクリアしてします。

$2\text{万円} \div 5\text{千円} = 4$

$10000\text{通貨}(100\text{円}) \times 4 = 4\text{万通貨}$

$4\text{万通貨}(400\text{円}) \times -50\text{pips} = 20000\text{円}$

損切りが50pipsであれば4万通貨までポジションサイズを設定できます。

**3%というと、シビアに思われるかもしれませんが、  
まずは資金を溶かしてしまっただけで退場しないことが1番大事です。**

仮に1つ以上ポジションを保有する場合であっても、  
資金全体の3%以内にはするのがいいですね。

3%でやっていれば、そんなにすぐに簡単に口座を溶かすことはないかと思います。

**鉄板のエントリーパターンがきたらポジションサイズを大きくする！(リスクを取って利益を取る)、  
根拠が多い時にポジションサイズを大きくする！**

そういったことも戦略としてありますね。

そうだとした場合、資金の10%以内にはしないと溶かしてしまう確率も上がってしまいますね。

**FXで勝つには手法よりも資金管理の方が大切です！**

底、天井から乗れると、リスクリワードが圧倒的にいいトレードができます！

底や天井がわからなくても、サイクルがわかれば、  
押し目からのロング、戻り目からのショートもやりやすくなります。

決済位置、損切り位置の目安もつきやすいです。

# 損切りの置き方

皆さんは損切りする場所はどのようにして決めていますか？

例えば

- ・含み損-10万円になったら損切り
- ・-30pips になったら損切り

などと決めている方がいますが、  
こういった理由は、**個人の理由で決めている損切り**になります。

損切りラインはトレードに置いて非常に大事で、

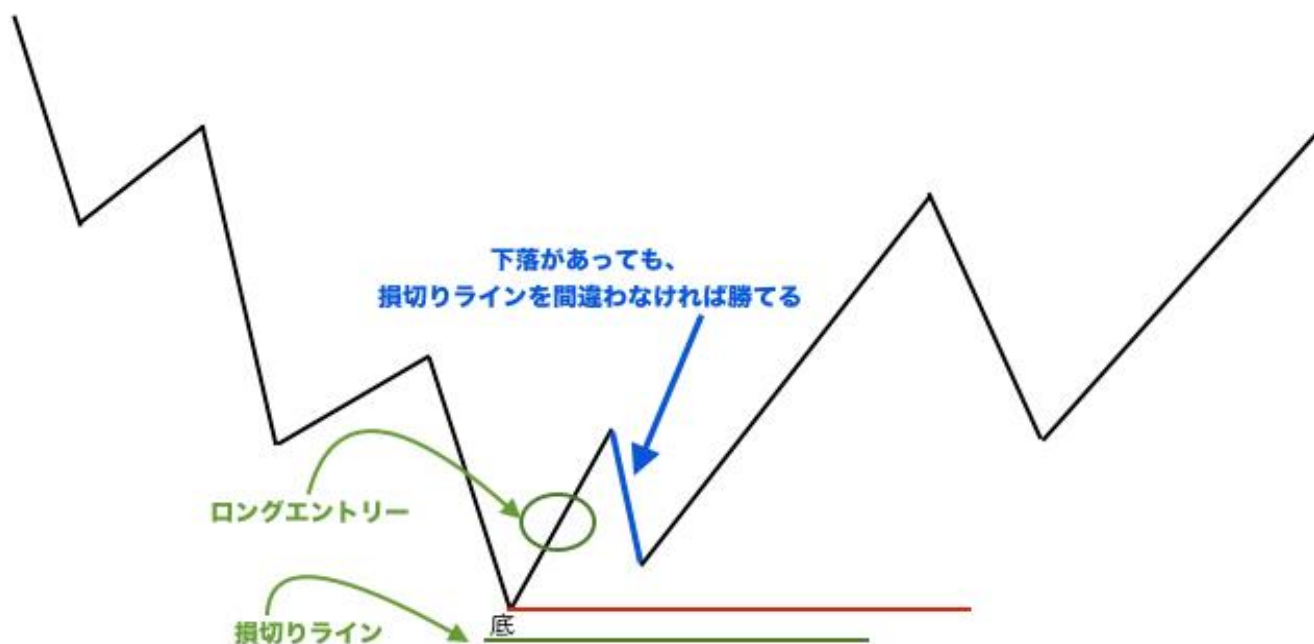
損切りラインの置き方次第では勝ちトレードも負けトレードにしてしまいます。

損切りラインは、「**どうしてそこに置くのか？**」という理由を大切にしてください。

**個人の理由で決めるのではなく、相場から理由を求めてください。**

どういうことかという、サイクルでトレードしている私の損切りするラインの決め方を説明したいと思います。





サイクルでトレードする場合は基本的に、

底と想定したところの下、天井と想定したところの上に置きます。

この画像は底と想定したところの下に置いています。

底の下に置いているので、損切りラインにはかからないんですね！

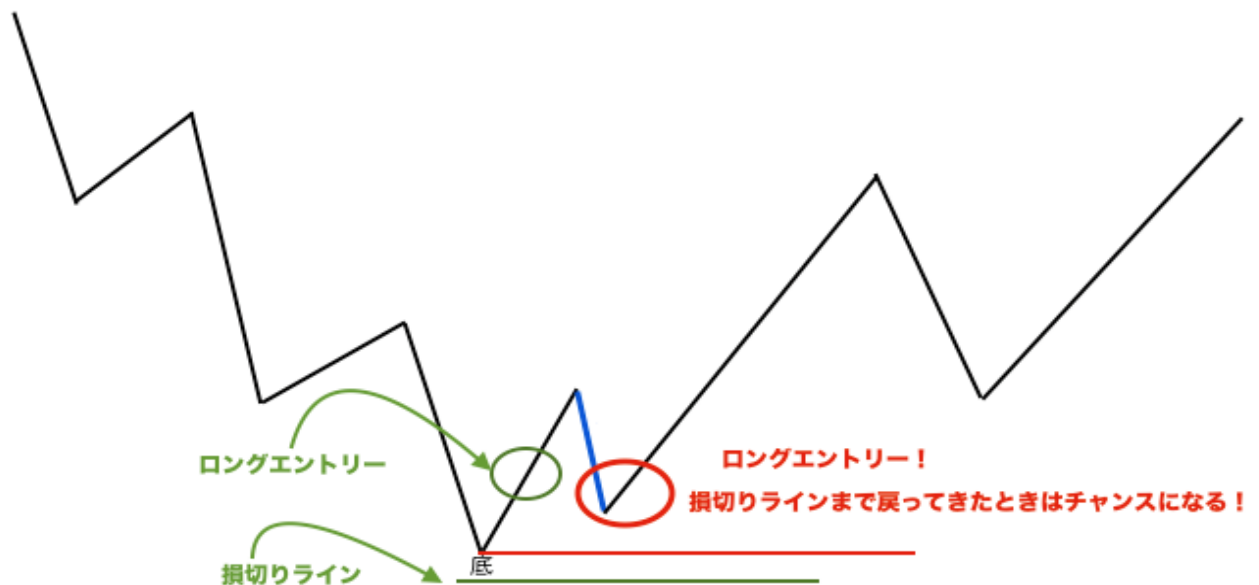
もし、損切りラインにかかった場合は、「まだ底じゃなかった」と定義することができるんですね！

勝ったときは、「底からエントリーしたから勝てた」

つまり、勝っても負けても理由が一定なんです。

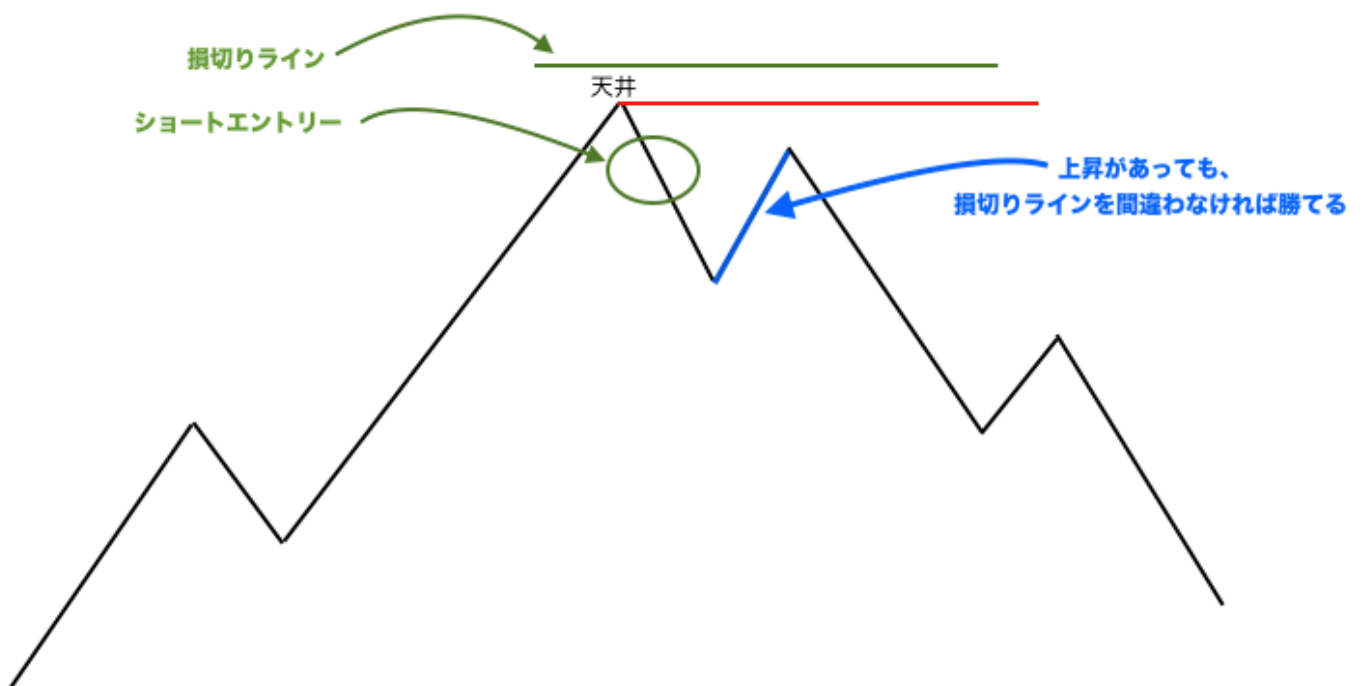
このやり方だと、個人の理由で損切りラインを決めているわけではありません。

**サイクル(相場)に合わせて損切りラインを決めているんですね！**



このように、損切りライン付近までの下落がある場合は、チャンスになります！

損切りラインが決まったら、損切りラインになるべく近い位置でエントリーできるので、リスクワードの良いトレードができます。

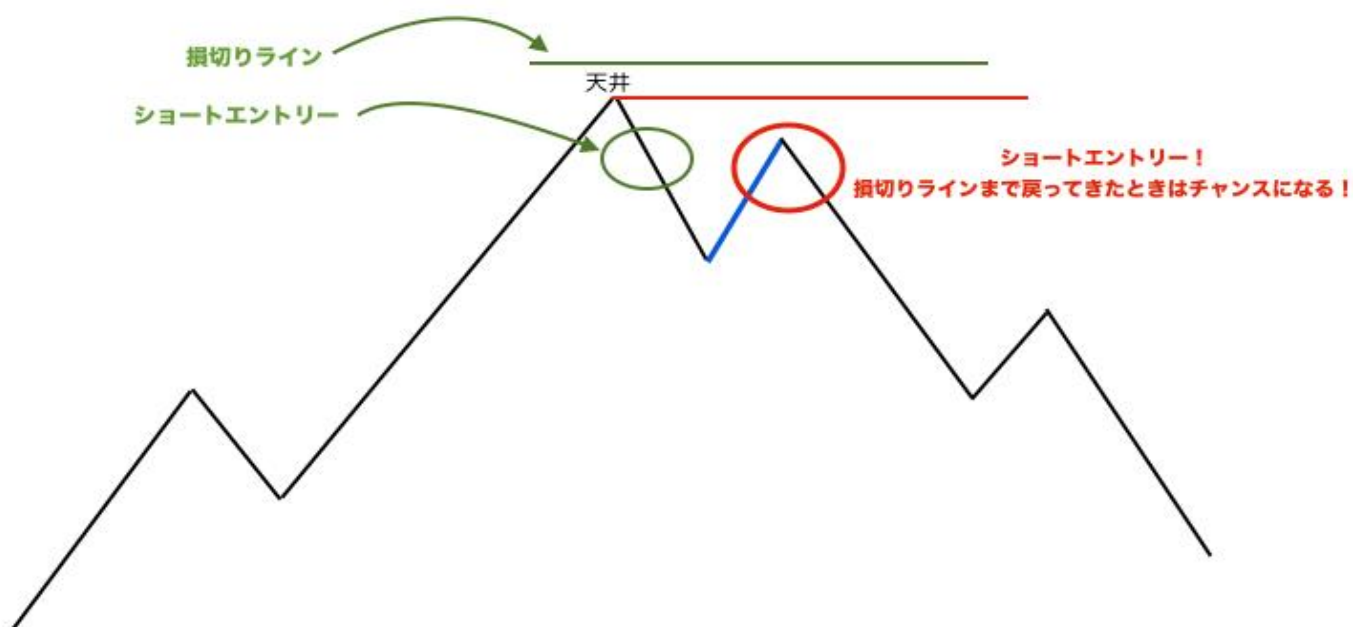


天井からショートエントリーを狙う場面では、先ほどと逆の考えになります。

損切りラインは天井と想定したところの上に置きます。

**天井の上に置いてあるので、損切りラインにかからない！**

もし、損切りラインにかかった場合は、「まだ天井じゃなかった」と定義することができるんですね！



**天井付近まで戻しがあったときはチャンスになります！**

**実際のチャートで見ると、このような形になります。**



**天井であれば超えない！という優位性を使いましょう。**

**損切りは天井より上にあるので、損切りに掛かることはありません。**

**超える場合はサイクルの見直しをしましょう。**

**「レフトランスレーション」であれば、起点割れまで狙うことも出来ますね！**



起点は割れない！という優位性を使いましょう。

損切りは起点より下にあるので、損切りに掛かることはありません。

超える場合はサイクルの見直しをしましょう。

起点及び天井が想定出来て、また近づく動きがあった際には損切り幅を小さく狙うことが出来ますね。

損切りが大事なものは誰もが分かっているはずですが。

ですが、頭では分かっているだけで実行出来ない人がほとんどです。

損切りは、次のチャンスでトレードするために、また戦うために行うんですね。

**知っているだけでは、使えていないのでただの知識です。**

**知識は使えるようになって初めて知恵に変わります！**

**ぜひ知恵に変えてくださいね!**

# サイクルを使って ナンピンする方法

損切りの置き方を基に考えると、ナンピンのような形でトレードすることも出来るようになります。

ナンピンと書きましたが、ここでのトレードのやり方は、

ナンピンやピラミッディングとも呼ばれる手法とは少し違います。

※ナンピンは含み損になれば追加ポジションを取ることです。

※ピラミッディングは、

1回目1ロット、2回目1.5ロット、3回目2ロット・・・と増やしていく

1回目1ロット、2回目1ロット、3回目1ロット・・・と同じロット数を追加していく

1回目2ロット、2回目1.5ロット、3回目1ロット・・・と減らしていく

1回目1ロット、2回目2ロット、3回目1.5ロット・・・と打診→追加と不変的に追加していく

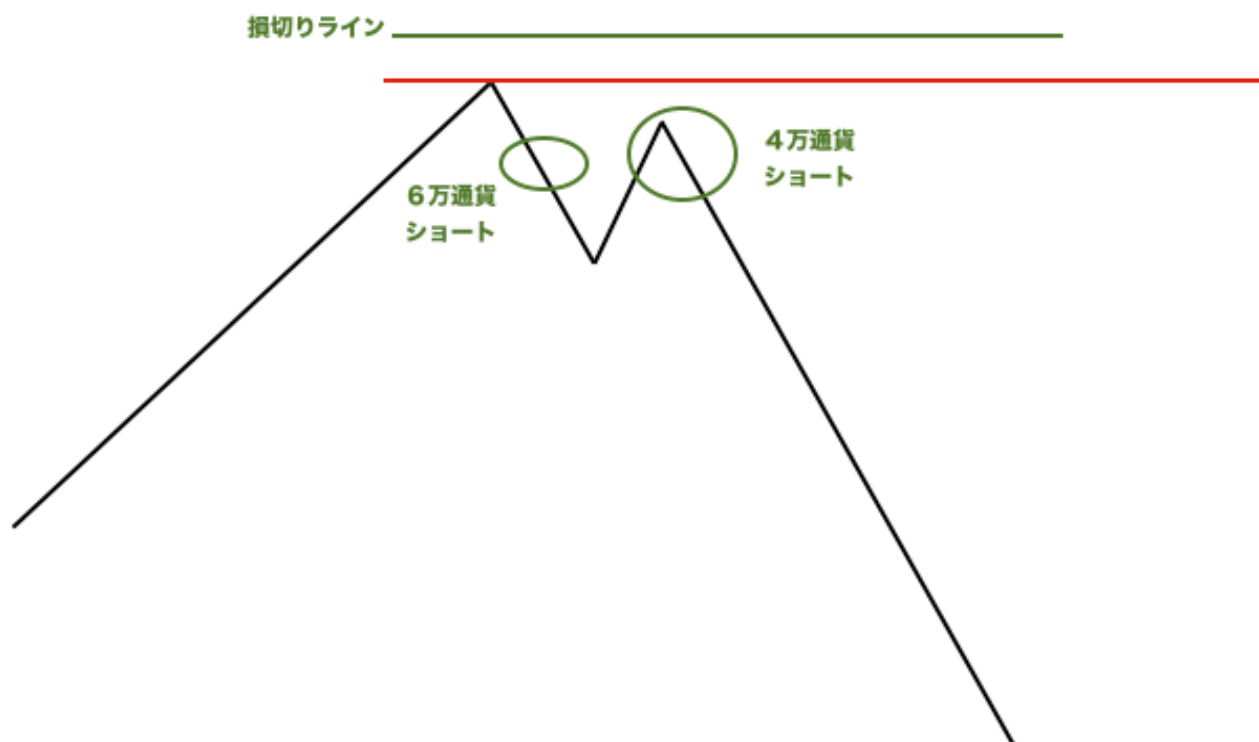
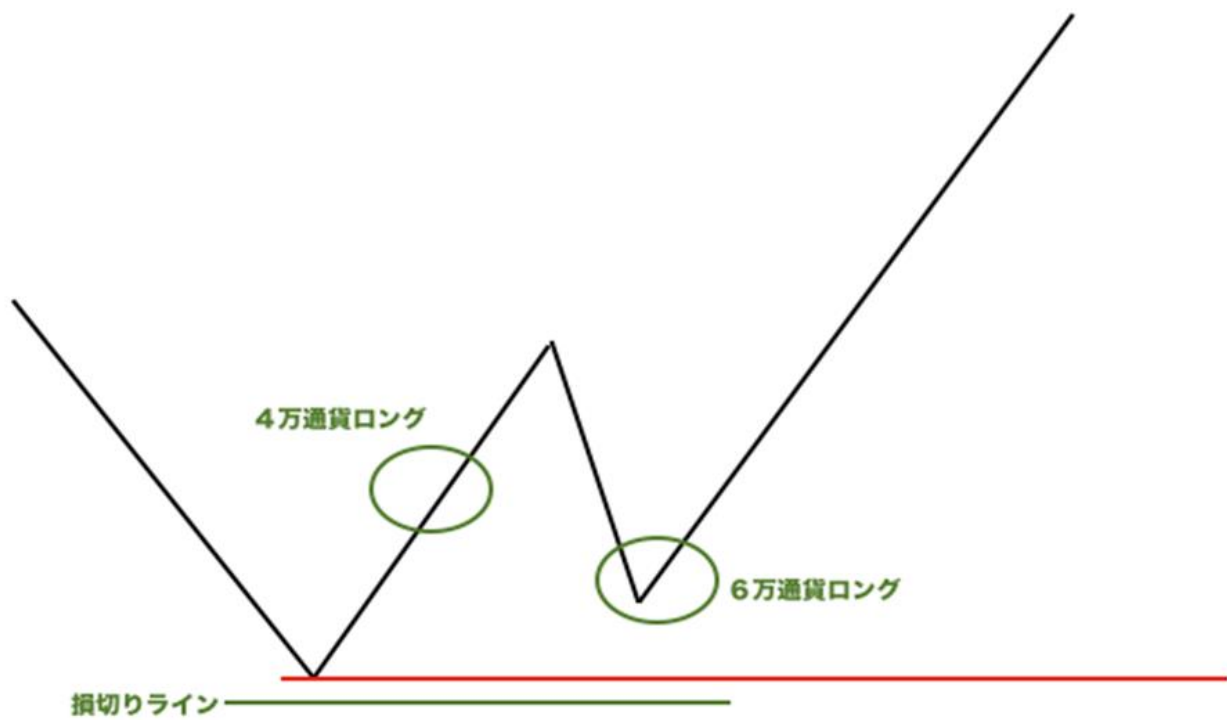
簡単に説明すると、ナンピンやピラミッディングはこのようなトレード手法です。

ただ、ここでの私のやり方は、

**「損切りラインに近ければ近いほど、ポジションサイズを大きくする」**

というやり方です。





例えば、トータルで10万通貨でトレードするとしましょう。

このように最初は4万通貨でエントリーして、

また損切りラインまで戻りがあった場合は追加する！ということが出来ます。

資金を分散してエントリーするんですね。

**損切りラインに近ければ近いほど、ポジションサイズは大きくするイメージです。**

○通常通りエントリーする場合

・10万通貨でエントリー

□損切りラインまで-10pips

→損切りに掛かると-1万円

もし損切りにかかった場合 計-1万円

□損切りラインまで-50pips

→損切りに掛かると-5万円

もし損切りにかかった場合 計-5万円

○分散してエントリーする場合、

□損切りラインまで-30pips のとき3万通貨でエントリー  
→損切りに掛かると-3万円

□損切りラインまで-10pips のとき7万通貨でエントリー  
→損切りに掛かると-7千円

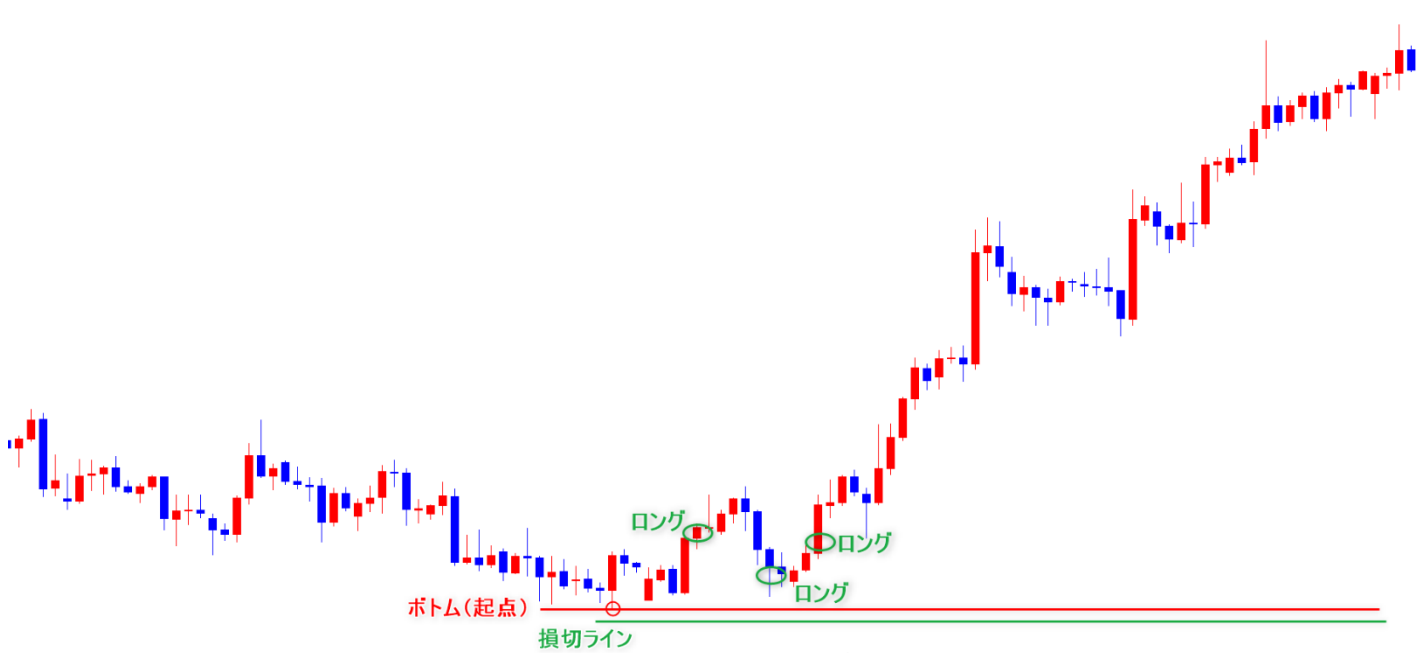
もし損切りにかかった場合 計-3万7千円

**このように、同じ場面でのトレードでも、トータルでの損失額を減らすことが出来ます。**

損切りラインから近い位置で、  
大きなポジションサイズでポジションを保有出来るということは、  
**“損は小さく、利は大きい”**理想のトレードをすることが可能となります。

ほとんどの方がエントリーポイントばかり探します。

**ですが、どこでエントリーしても、損切りラインは変わりません！**



損切りラインが同じであれば、  
損切りラインに近い時にエントリーすればいいだけなんですね。

損切りラインが変わらないのであれば、なるべく損切りラインに近い位置でエントリーする方が有利になります。

トレードの勝敗というのは損切によって決まります。

トレードの金額というのはエントリーポイントによって決まります。

まずは1つのトレードで勝敗を勝ちにしないといけないので、  
エントリーポイントよりも損切りポイントの方が大事なんです。

勝ちじゃないとお金は1円も増えません。

金額ばかり気にしているから勝てないんです。

**損切りライン＞エントリーポイント**

**というのを大切にしてくださいね！**

# “買い”と“売り” どちらが好きですか？

これまでサイクル理論に基礎についてお伝えしましたが、

いきなりトレードに取り入れていく！

というのは難しいかもしれません。

私も最初は

「サイクルを知ったところで、これからどうしようか・・・」

なんて思いましたから。笑

そこで、私なりのおススメの方法をお伝えしたいと思います☆

このやり方は

「今までトレードは負け続けている！」

「もっと簡単なトレードがしたい！」

という方にも取り入れていただけるかと思います。

さて、まず皆さんは

買いも売りもトレードしている方がほとんどだと思います。

勝てている方はもちろんそれで良いとは思いますが、、

どうしても利益を出すのが難しい！とお困りの方は

一度「**買い**」か「**売り**」かどちらかだけでトレードするのもありだと思っています。

特に初心者の方は、

買い、売り、どちらの場面も探そうとするとチャートを複雑に見てしまいます。

「買い」も「売り」も頭に入っているからややこしく相場を見てしまっているんです。

一つに絞ることで複雑に思えていたものが、

買い、売り、どちらか一方だけでトレードするようにすると、

今まで気付かなかったことも見えてくるかもしれませんよ♪

例えばですが、「買い」と決めたなら買いの場面だけ待つようにしてください！

売りではトレードしないようにします。

そして「買い」だけトレードしてください。

そうすれば、あとは

どこで買うか？

どこで損切りするか？

この2点を考えれば良いことになります。

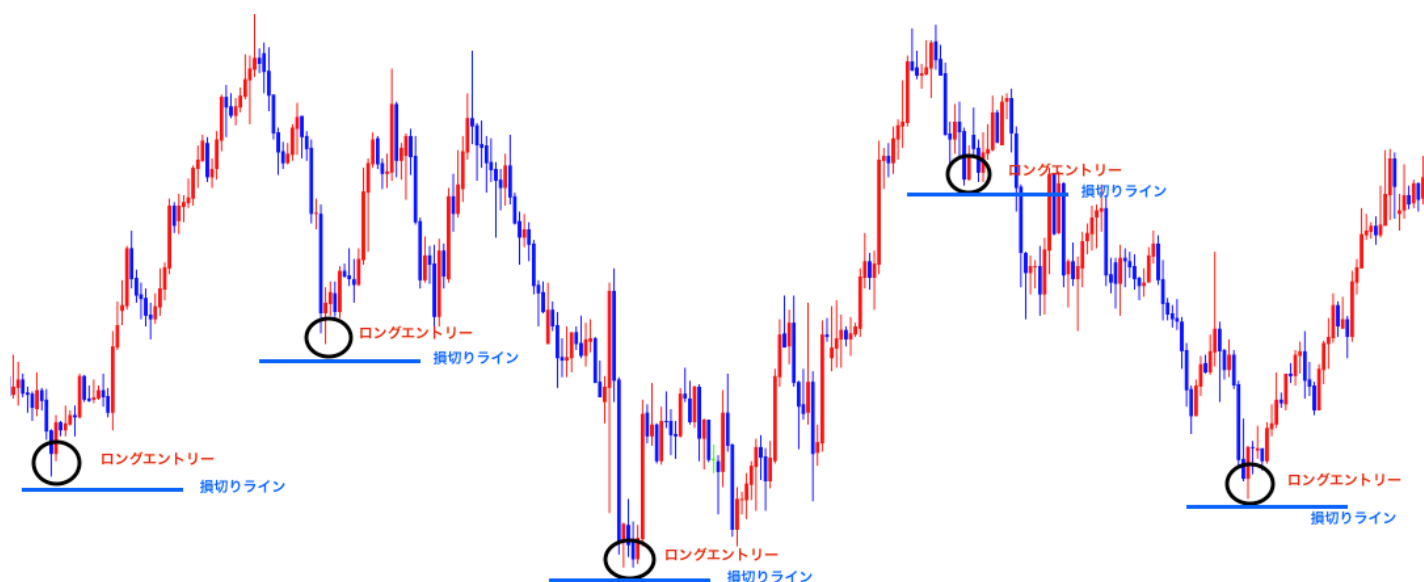
すると必然的に待つこともできるようになるし、トレード回数も減るはずです。



特に、サイクル理論を使う場合は「売り」より「買い」の方がエントリーが簡単なんです。

なぜなら、底から底までのローソク足の本数がおおよそ決まっているからです。

とにかくサイクルボトムの時間帯まで待てばいいんです！



(4時間足チャート)

この画像はある2ヶ月間のチャートです。

この場面であれば4つ目のトレードは、

利益確定タイミングを間違えば負けているかもしれません。

負けていると仮定すれば、

5勝1敗といったところでしょうか☆

買い(ロング)エントリーだけでも十分勝てますよね？

売り(ショート)の場合は天井だけでショートして、底出現時間で利食いするというトレードができます。

ですが、最初は天井から売って、底から買って、また天井から売って……

といったトレードは、サイクル理論を使い始めたばかりの方には難しいと思うんですよね。

無理して上も下も取りに行く必要もないですし、

目線を絞る練習になると思います。

トレードというのは、

**売る**

**買う**

**様子見**

この3パターンしかありません。

自分がどの選択をするのか、感情を抜いて考えましょう。

勝つためには様子見も重要なトレードの1つの選択です。

売なのか、買うのかもわかっていない、

曖昧な状態でトレードするのは危険です。

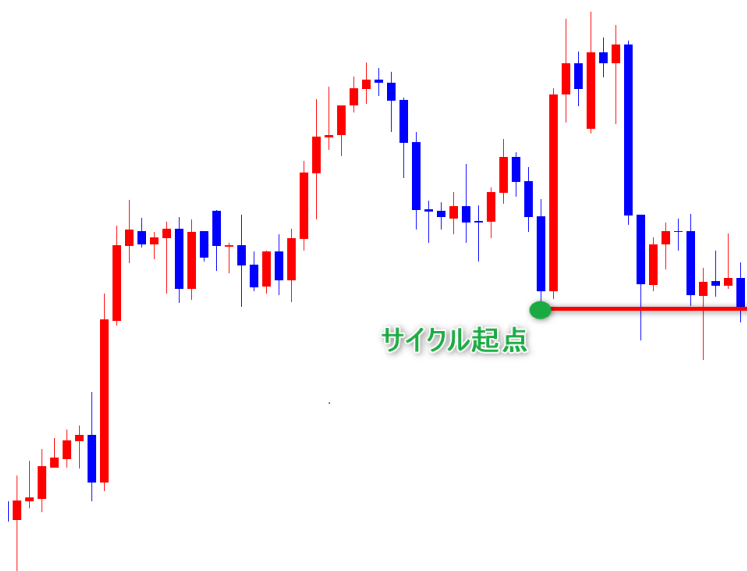
自分がわからない相場でトレードする必要はないので、

とにかくチャンスがくるまで待ちましょう。

# 定義を使ったトレード！

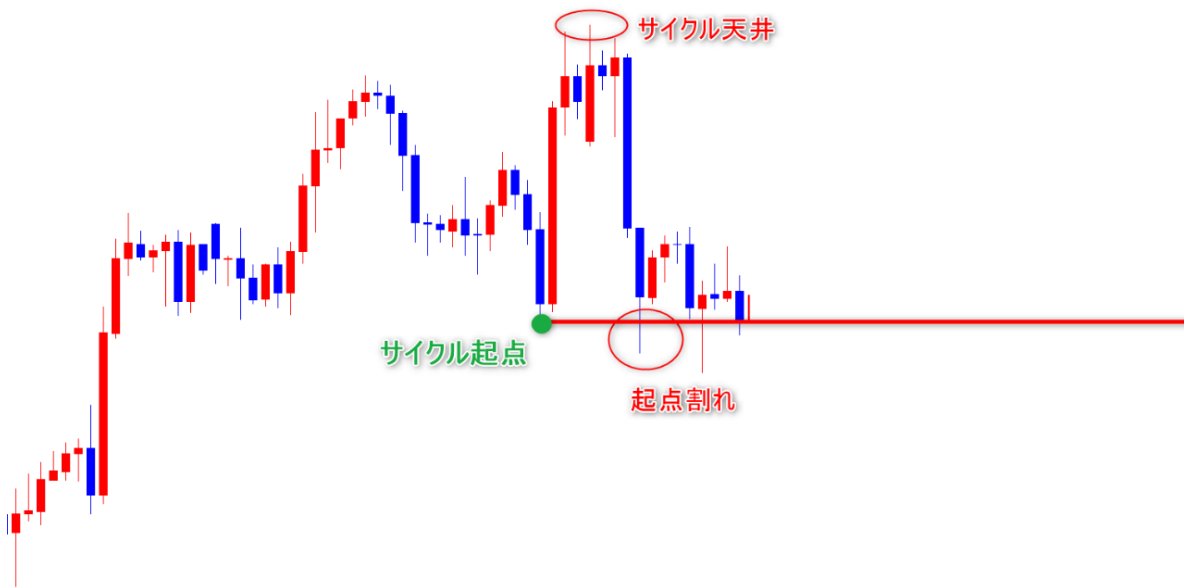
サイクルにはあり得ない形が存在するといった説明はしましたね。

その形、優位性を使ってトレードを狙う方法を紹介します！



サイクル起点があった場合、

起点割れでレフトランスレーションが確定します。



レフトトランスレーションが確定するという事は、サイクル天井も確定します。

サイクル完成前に

**「起点を割ってから、高値(天井)を超えることはない。」**

というお話はしましたね。

つまり、レフトトランスレーションが確定しているということは、

“天井を超えることなくサイクル完成へ向けてボトムを付ける”

ということでもあります。

なので、**起点割れをしてから天井付近まで戻ってきた際にエントリーを狙う！**

といったことが出来るんですね。



◀ で表したようなポイントではエントリーが狙えます。

天井であれば超えない！という優位性を使いましょう。

損切りは天井より上にあるので、損切りに掛かることはありません。

超える場合はサイクルの見直しをしましょう。

# 多くの人が間違えている！ トレンドの定義！

初心者の方に多いのが、

“そもそも”今が上昇トレンドなのか？

それとも、下降トレンドなのか？

分かっていないということなんですね。

ここでのトレンドはサイクルとはまた別でダウ理論に基づいたお話です。

“そもそも”トレンド“を間違っていると、

知らず知らずにうちに逆張りトレードをしてしまったり……

環境認識ができていないわけです。

ですので、今一度トレンドについて確認してみましょう！

では、トレンドはどうやって判断するかというと、  
基本的にはダウ理論に基づいて判断します。

**ダウ理論は、世界中のトレーダーが意識して見えています！**

**世界中のトレーダーも私たちと同じようにチャートを見て、**

**ポジションをとっているので、**

**基本中の基本のダウ理論を理解して今の相場の方向感を掴めるようになることは非常に大事です。**

**「安値切り上げ、高値切り上げ だから 上昇トレンド」**

**だけでなく、**

**「ここの波は越えて安値切り上げ、高値切り上げ だから 上昇トレンド」**

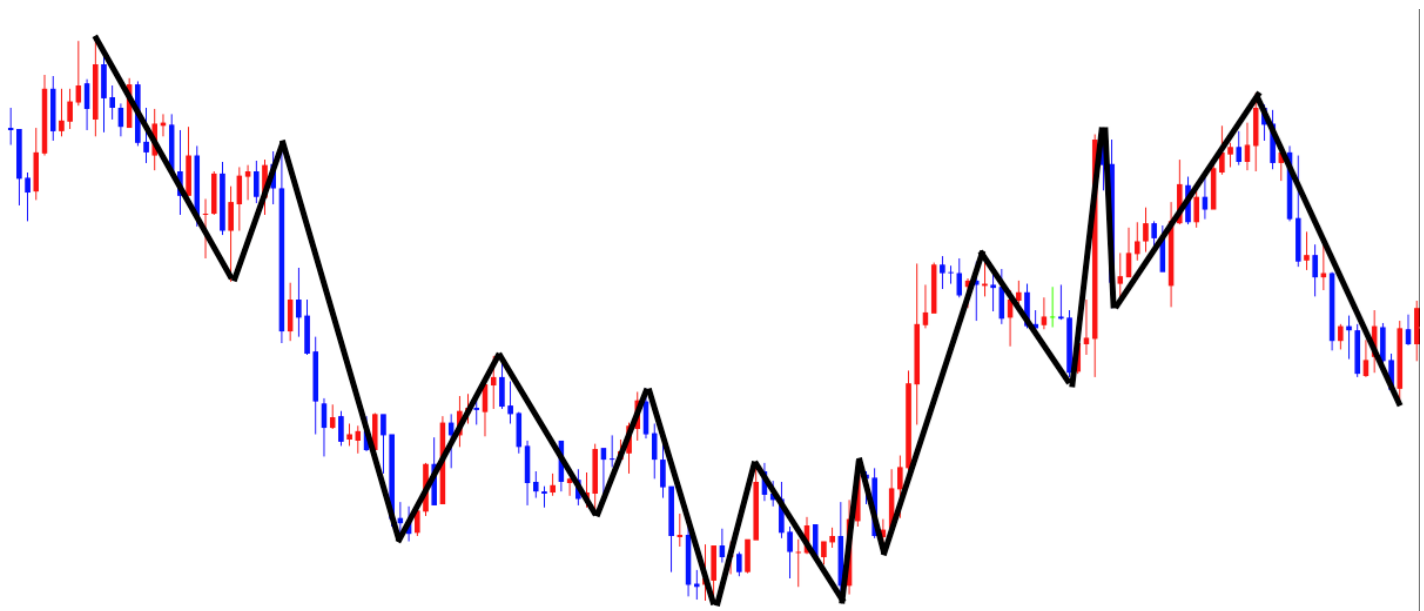
**というように理論と根拠を 持って意識してみてください。**

**例えばこのような場面であなたはどのように波形を捉えますか？**





**私だったら、このように波を捉えます。**



これは波を大きく捉える人と、小さく捉える人で変わってくると思います。

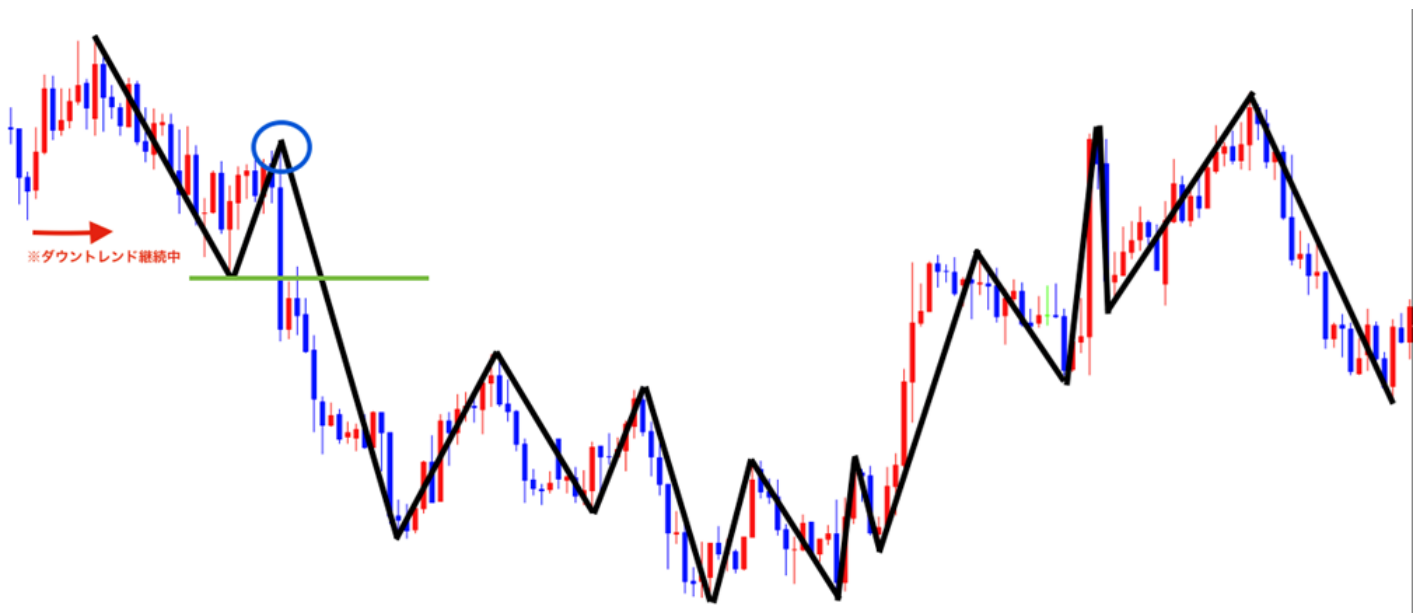
ですので、私と違って全く問題はありません！

**あなたの中で一貫性があれば大丈夫です！**

そして、これはダウントレンドから、アップトレンドに切り替わる場面なのですが、

- ・どこまでダウントレンド
- ・どこからどこがトレンドが出ていないのか
- ・どこからアップトレンドか

自信をもって答えられるでしょうか？



左からダウントレンド継続中とします。

緑の安値を抜けて、

青丸が戻り高値になり、これを越えるまではダウントレンド継続です。



次に安値更新されたので戻り高値の位置が移動します。

この青丸の高値を越えるまではダウントrend継続です。



戻り高値を超えました。

赤の矢印の時点で初めてダウントrendは崩壊です。

そして赤丸の安値が押し安値になります。

この時点ではまだアップtrendではありません。



緑の高値を越えるまでの、紫の四角で囲んだ部分はtrendが出ていない部分です。

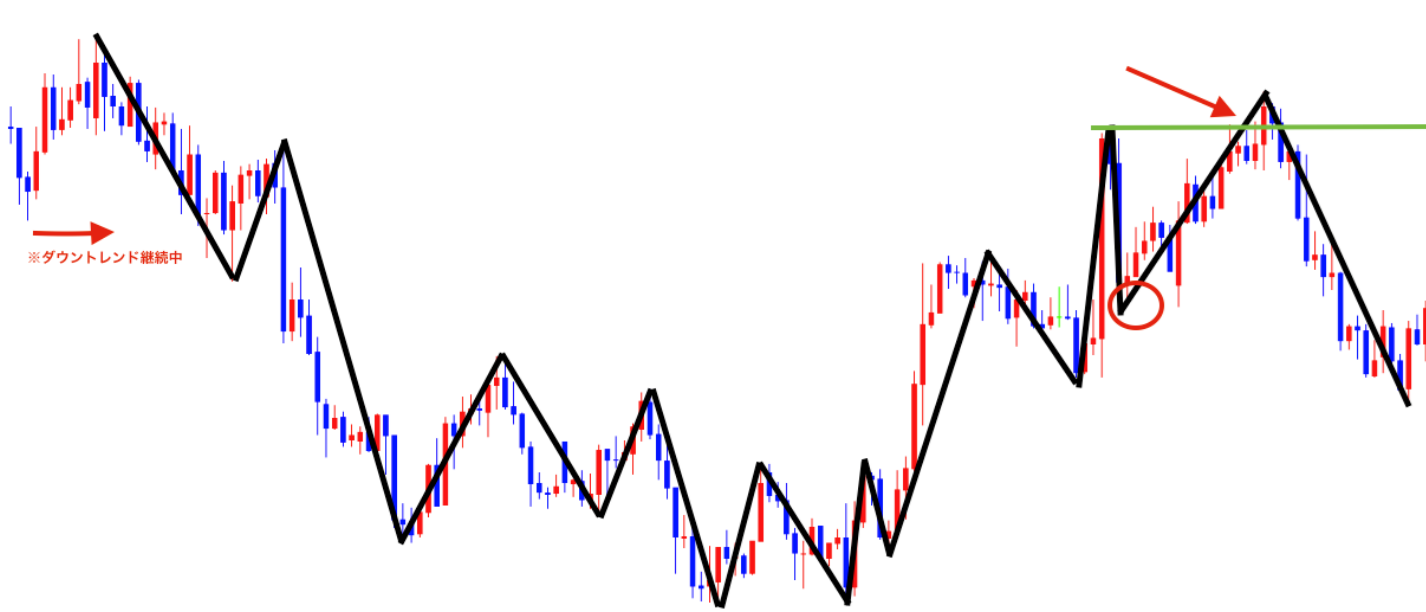


**高値更新されました。**

**この時に初めてアプトレンドが完成したと言えます。**

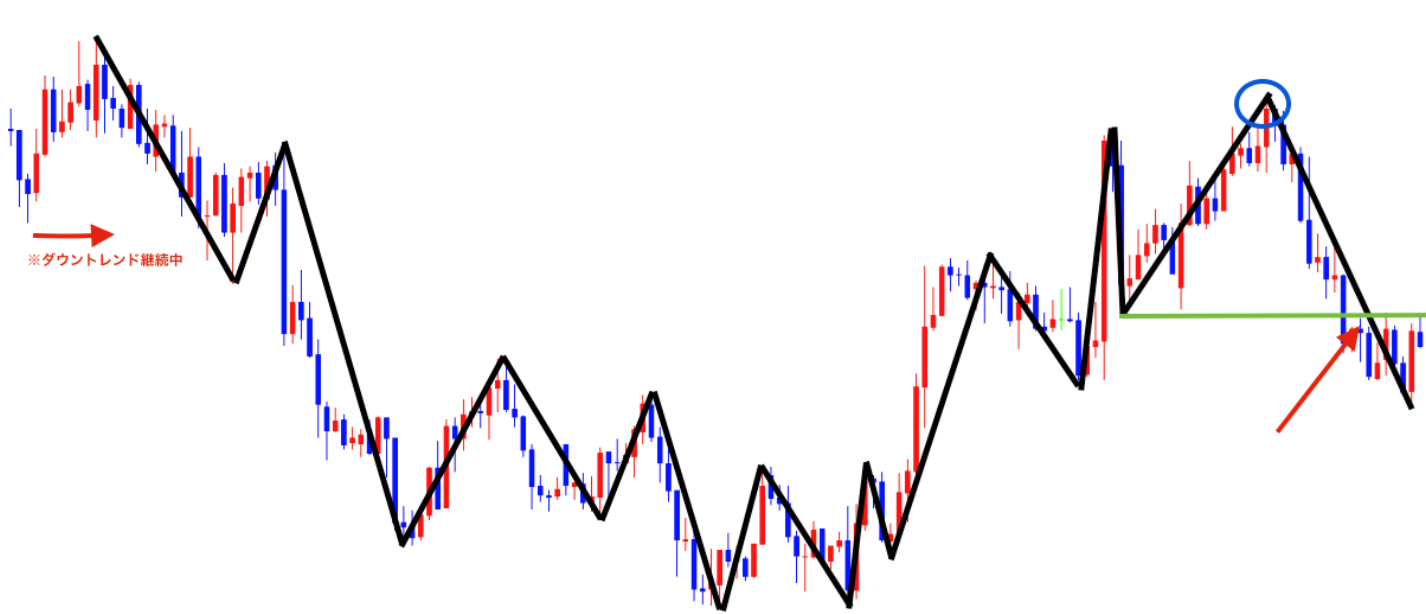
**そして押し安値は赤丸です。**

**この赤丸の安値を割れない限りアプトレンドは継続します。**



高値更新されました。

次は赤丸が押し安値になり、この安値を割れない限り、アプットrendは継続です。



押し安値を割れたので、赤也印のところでアプットrendは崩壊です。

**これで青丸が戻り高値になります。**

**以上が明確なトレンドの定義です！**

**「今まで勘違いしていた！」という方もおられたのではないのでしょうか？**

**これは基本中の基本になるので、必ず認識できるようにしてくださいね！**

**これは簡単なチャートで説明しましたが、もっと複雑なチャートでも一貫性を持って分析できるように練習してみてください♪**

**ちなみに私は、適当にチャートを印刷して波を書いて練習したりしていました。笑**

**何度もしていればチャートを見ただけで判断できるようになりますよ！**



# 大衆の逆をやれ！

相場の天井、底というのはおおよそ予測することは間違いなく可能です！

天井、底をつければそのポイントから転換していくということです。

相場の転換点となるポイントは、

- ・上昇トレンドが加熱して天井圏を形成して反転して下落するパターン  
天井をつければ底に向かって動きます！
- ・下降トレンドが行きすぎて大底圏に到達して反発して上昇するパターン  
底をつければ天井に向かって動きます！

この2つしかありません！

つまり相場は底から天井、天井から底へ動くだけです！

たったこれだけのことなので、難しく考えずに定義してくださいね！

トレードで1番利益を出す方法は、新しいトレンドにいち早く乗ることですよね。

相場はトレンド→レンジ→トレンド→レンジの繰り返しです。

転換点から持っていて、相場がどこに向かって動いているのかわかっていれば、途中のレンジなんかも気にせず保有できますからね！

相場のトレンドが上昇しているのか、下落しているのか、レンジなのかを読む代表的な指標として移動平均線があります。

そのトレンドと同じ方向に売買しましょうというのがよく言われていることです。

もちろん私もその考えです。

上昇トレンドのときに売りエントリーするのはトレンドに逆らっているので、勝ちにくいです。

しかし、本当にそうでしょうか？

逆張りだとわかってあえてやるのであれば有効だと私は思います。

「移動平均線のゴールデンクロスで買い、デッドクロスで売り」

これは広く一般的に言われていることですが、移動平均線のクロスを見てから売買するって正直遅くないですか？

そのときにはすでにトレンドが始まっていますし、損切りラインの選定も難しいと思います。

特に短期足で移動平均線に従ってトレードしては、買ったところが天井だったなんて多発してしまいます。

私は逆張りもやりますし、順張りもやります。

**<トレンドに乗ることが利益を出すためには必要>**

しかし、トレンドにいち早く乗ることができればさらに儲かりますよね。

テレビである商品が紹介されると多くの人を買うので、その商品は売り切れになったりします。売り切れになってからでは買えないので、あなたはすでにその商品を知っていて、買っている必要があるということです。

つまり、大勢の人がテレビで知るが、すでに知っていたのが勝ち組で大衆の残りわずかの人達ということです。

**「大衆が買う前に、買っておく」**

これは FX の世界でも同じことなんですね！

みんなが、これから上がる(下がる)と思う前には、ロング(ショート)を入れている必要があるんですね！

上昇している時には、すでにロングを保有しているトレーダーが利食いを狙っています！

# さいごに

多くの人が行動に移しません。

行動してもすぐに諦めます。

そしてFXは”勝てない”と言って現実逃避します。

私はFXは努力すれば99%勝てる投資だと思っています。

そして努力次第で相場はなんとかなると思っています。

成功したい場合は大衆とは逆のことをしてください。

大衆が0から10しか行動しないなら、0～11まで行動してください。

そのわずか 1 の差はやがて圧倒的な差となって現れます。

**まだまだお伝えしたいことは山ほどあります！**

これから YouTube やブログ、SNS を通して

お伝えしていければと思っておりますので、

今後とも一緒に頑張っていきましょう！

**アッシュ公式 Youtube**



<https://bit.ly/YoutubeAsh>

**アッシュ公式ブログ**



<http://cyclefxtrader.com/>

**アッシュ公式 Twitter**



<https://bit.ly/tweash>

※当レポートの全部又は一部をいかなる手段においても副生、転載、流用、転売等することを禁じます。

※本書は、執筆者アッシュの見解に基づくものであり、本書に記載された見解、内容及び表現方法その他に関して、一切の責任を負うものではありません。

※決して投資勧誘を促すものではありません。投資を行う際は、それに関わるリスクを十分に考慮の上、投資の運用は自己判断・自己責任の上行ってください。